B5FH-7391-01

NB18C/T,NB18C,NB16C/T,NB16C/V,
NB16C/ST,NB16C,NB16C/A,NB16C/R,
NB18CN,NB16CN/T,NB16CN

1番目に読む本

パソコンの準備

パソコンの電源を入れる前にお読みください。
接続方法や、必要な準備について説明します。

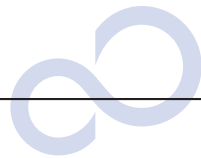
1 各部名称

2 始める前に

3 パソコンを準備する

4 接続/設定する

5 仕様

知りたいことを調べるには

本で調べる

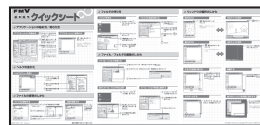
『パソコンの準備』

パソコンの接続やWindowsのセットアップなど、パソコンを使い始める前に必要な準備について書かれています。

『使いはじめガイド』

パソコンを使うための基礎知識やユーザー登録の方法、インターネットやEメールの始め方などがわかります。

『トラブル解決ガイド』

画面が表示されないなど、サービスアシスタントでは調べられないトラブルの原因・対処がわかります。

『基本操作クイックシート』

パソコンの基本的な操作方法がまとめてあります。お手元に置いてご覧ください。

画面で調べる

「サービスアシスタント」

••▶ 詳しくは 『使いはじめガイド』をご覧ください。

（ヘルプ）

サービスアシスタントの詳しい使い方を知りたいときは、このボタンをクリック！

検索

知りたいことがどこに載っているかわからない、というときはここで検索しましょう。用意されたキーワードを利用することもできます。

画面で見るマニュアル

パソコン入門やアプリケーションの使い方、周辺機器の取り付け方などが調べられます。

トラブル解決

このボタンをクリックすると、故障かどうかのチェックが行われ、トラブル解決のためのアドバイスが表示されます。

●起動方法

DESKPOWERの場合	BIBLOの場合（LOOX Sシリーズ除く）	BIBLO LOOX Sシリーズの場合
キーボードの「サポート」（または「Support」）ボタンを押す	ワンタッチボタンの「A」ボタンを押す（機種によってはモードの切り替えが必要です）	画面にある サービスアシスタント をクリック

※「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリックしても起動できます。

『パソコンの準備』の内容

必ずお読みください

まず機種名や添付品の確認をします

第 2 章　パソコンを使い始める前に（••▶P.19）

電源を入れてパソコンを使う準備をします

第 3 章　電源を入れてパソコンの準備をする
1 初めて電源を入れる（••▶P.26）

通信の回線を接続します

第 3 章　電源を入れてパソコンの準備をする
3 通信の回線を接続する（••▶P.57）

4 章は目的に合わせてお読みください

■メモリなどの周辺機器を取り付けたい（••▶P.68）
■テレビを見たい（••▶P.72）
■ USB スピーカーを取り付けたい（••▶P.76）

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、このパソコンを安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本パソコンをお使いになる前に、本マニュアルを熟読してください。特に、添付の『安全上のご注意』をよくお読みになり、理解されたうえでこのパソコンをお使いください。
また、このマニュアルおよび『安全上のご注意』は、本パソコンの使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

・ 保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
・ 修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
・ 保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
・ 保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
・ 修理後は、パソコンの内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、フロッピーディスクなどに複写して、保管しておいてください。
・ 本パソコンの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

使用許諾契約書

富士通株式会社（以下弊社といいます）では、本パソコンにインストール、もしくは添付されているソフトウェア（以下本ソフトウェアといいます）をご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、下記「ソフトウェアの使用条件」にご同意いただくことを使用の条件とさせていただいております。
なお、お客様が本ソフトウェアのご使用を開始された時点で、本契約にご同意いただいたものといたしますので、本ソフトウェアをご使用いただく前に必ず下記「ソフトウェアの使用条件」をお読みいただきますようお願い申し上げます。ただし、本ソフトウェアのうちの一部ソフトウェアに別途の「使用条件」もしくは「使用許諾契約書」等が、添付されている場合は、本契約に優先して適用されますので、ご注意ください。

ソフトウェアの使用条件

1. 本ソフトウェアの使用および著作権
   お客様は、本ソフトウェアを、日本国内において本パソコンでのみ使用できます。なお、お客様は本パソコンのご購入により、本ソフトウェアの使用権のみを得るものであり、本ソフトウェアの著作権は引き続き弊社または開発元である第三者に帰属するものとします。
2. バックアップ
   お客様は、本ソフトウェアにつきまして、1 部の予備用（バックアップ）媒体を作成することができます。
3. 本ソフトウェアの別ソフトウェアへの組み込み
   本ソフトウェアが、別のソフトウェアに組み込んで使用されることを予定した製品である場合には、お客様はマニュアル等記載の要領に従って、本ソフトウェアの全部または一部を別のソフトウェアに組み込んで使用することができます。
4. 複製
   (1) 本ソフトウェアの複製は、上記「2.」および「3.」の場合に限定されるものとします。
   本ソフトウェアが組み込まれた別のソフトウェアについては、マニュアル等で弊社が複製を許諾していない限り、予備用（バックアップ）媒体以外には複製は行わないでください。
   ただし、本ソフトウェアに複製防止処理がほどこしてある場合には、複製できません。
   (2) 前号によりお客様が本ソフトウェアを複製する場合、本ソフトウェアに付されている著作権表示を、変更、削除、隠蔽等しないでください。
5. 第三者への譲渡
   お客様が本ソフトウェア（本パソコンに添付されている媒体、マニュアルならびに予備用バックアップ媒体を含みます）を第三者へ譲渡する場合には、本ソフトウェアがインストールされたパソコンとともに本ソフトウェアのすべてを譲渡することとします。なお、お客様は、本パソコンに添付されている媒体を本パソコンとは別に第三者へ譲渡することはできません。
6. 改造等
   お客様は、本ソフトウェアを改造したり、あるいは、逆コンパイル、逆アセンブルをともなうリバースエンジニアリングを行うことはできません。
7. 壁紙の使用条件
   お客様は、「FMV」ロゴ入りの壁紙を改変したり、第三者へ配布することはできません。
8. 保証の範囲
   (1) 弊社は、本ソフトウェアとマニュアル等との不一致がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 90 日以内に限り、お申し出をいただければ当該不一致の修正に関して弊社が必要と判断した情報を提供いたします。
   また、本ソフトウェアの記録媒体等に物理的な欠陥（破損等）等がある場合、本パソコンをご購入いただいた日から 1ヶ月以内に限り、不良品と良品との交換に応じるものとします。
   (2) 弊社は、前号に基づき負担する責任以外の、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じるいかなる損害（逸失利益、事業の中断、事業情報の喪失その他の金銭的損害を含みますが、これに限られないものとします）に関しても、一切責任を負いません。たとえ、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。
   (3) 本ソフトウェアに第三者が開発したソフトウェアが含まれている場合においても、第三者が開発したソフトウェアに関する保証は、弊社が行う上記（1）の範囲に限られ、開発元である第三者は本ソフトウェアに関する一切の保証を行いません。
9. ハイセイフティ
   本ソフトウェアは、一般事務用、パーソナル用、家庭用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本ソフトウェアを使用しないものとします。ハイセイフティ用途とは、下記の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
   記
   原子力核制御、航空機飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制御など

富士通株式会社

マイクロソフト製品サービスパック

Microsoft® Windows® をご利用のお客様がより安定したシステムを運用していく上で、マイクロソフト社はサービスパックを提供しております（http://www.microsoft.com/japan/）。
お客様は、最新のサービスパックをご利用いただくことにより、その時点でマイクロソフト社が提供する Microsoft® Windows® にて最も安定したシステムを構築できます。
したがいまして、当社としては、最新のサービスパックをご利用いただくことを基本的には推奨いたします。
ただし、お客様の環境によっては、サービスパック適用により予期せぬ不具合が発生する場合もありますので、ご利用前にはサービスパックの Readme.txt を必ずご確認ください。
また、万一、インストールに失敗したことを考慮し、システムのバックアップを取ることを推奨いたします。

このマニュアルの表記について

安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、いろいろな絵表示を使用しています。これは装置を安全に正しく使用していただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、お読みください。

警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の表示と同時に次のような記号を使っています。

	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、画面およびイラストが若干異なることがあります。また、このマニュアルに表記されているイラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときに注意していただきたいことや、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
●●▶	参照先を記述しています。
	ご覧になっていただきたいマニュアルを記述しています。
	サービスアシスタントを表しています。次のいずれかの操作で起動できます。 ・ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A」ボタンを押す ・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「富士通サービスアシスタント」→「富士通サービスアシスタント」の順にクリック
	CD- ROM/DVD-ROM を表しています。

製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

正式名称	このマニュアルでの表記	
Microsoft® Windows® XP Home Edition	Windows XP Home Edition	Windows
Microsoft® Windows® XP Professional	Windows XP Professional	
Microsoft® Office XP Personal	Office XP Personal	
DVD Multi ドライブ、DVD-R/RW ドライブ、CD-RW/DVD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ	CD/DVD ドライブ	
富士通サービスアシスタント V1.4	サービスアシスタント	
Norton Internet Security™ 2003	Norton Internet Security	

警告ラベル／注意ラベル

このパソコンには警告ラベルおよび注意ラベルが貼ってあります。
警告ラベルや注意ラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

商標および著作権について

Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
インテルおよび Pentium は、米国インテル社の登録商標です。
Celeron は、米国インテル社の登録商標です。
AMD, AMD Arrow ロゴ、AMD Athlon、ならびにその組み合わせは、Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
Motive のロゴ、Motive Communications, Inc., ServiceNet Platform および他の製品名あるいは技術用語は Motive Communications, Inc. の商標または登録商標です。
その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。

データのバックアップについて

本装置に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、保証書の記載事項以外は、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください。

添付の CD-ROM などは大切に保管してください

これらのディスクは、本パソコンに入っているソフトウェアをご購入時と同じ状態に戻すときに必要です。

液晶ディスプレイの特性について

以下は、液晶ディスプレイの特性です。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ TFT 液晶ディスプレイは高度な技術を駆使し、一画面上に 441 万個以上（解像度 1400 × 1050 の場合)、または 235 万個以上（解像度 1024 × 768 の場合）の画素（ドット）より作られております。このため、画面上の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合がありますが、これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
・ 本パソコンで使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。
なお、低輝度で長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になることがあります。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。
・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
この装置は、マニュアルに従って正しい取り扱いをしてください。

本製品には、有寿命部品（液晶ディスプレイ、ハードディスクなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。

本装置の使用環境は、温度 5 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80% です。また、保存環境は、温度 -10 ～ 60 ℃、湿度 20 ～ 80% です。

このパソコンは、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（802.11b 準拠）の場合
本装置は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。

ワイヤレス LAN 搭載モデル（802.11b 準拠）の場合

本装置の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
1. 本装置を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本装置から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
3. その他、本装置から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
   連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口」

ワイヤレス LAN 搭載モデル（802.11b 準拠）の場合

本装置と IEEE802.11a 準拠の機器とは、使用している周波数帯域が異なるため、通信できません。ご注意ください。
パソコン本体と通信相手の機器との推奨通信距離は、屋内 25m です。周囲の環境（壁や家具などの影響）、建物の構造によっては、通信可能距離が短くなる場合があります。特に鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、通信できないことがあります。

本パソコンにテレビを接続する場合は、適度な明るさの部屋で、できるだけテレビ画面から離れてご覧ください。
ごくまれに強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす方がおります。こうした症状を経験したことがある方は、テレビ画面をご覧になる前に、必ず医師にご相談ください。また、テレビ画面を見ている途中でこのような症状が起きた場合は、すぐに中止して医師の診断を受けてください。

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会が定める高調波ガイドラインの適用対象外です。

当社は､国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この製品には、マクロビジョンコーポレーション及びその他の権利者が所有している米国特許の方法クレームその他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています｡この著作権保護のための技術の使用に関しては､マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭及びその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
非公開機密著作物。著作権 1992-1999 年ドルビーラボラトリーズインコーポレーティド。不許複製。

この製品の構成部品（プリント基板、CD/DVD ドライブ、ハードディスク、液晶ディスプレイなど）には、微量の重金属（鉛、クロム、水銀）や化学物質（アンチモン、シアン）が含有されています。

！印刷時この情報を隠す

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）の最初の画面 →
目　次

このマニュアルの表記について 3

第 1 章　各部名称

1　パソコン本体前面 10
2　パソコン本体側面 11
パソコン本体左側面 11
パソコン本体右側面 12
3　パソコン本体背面 14
4　パソコン本体下面 15
5　状態表示 LCD 16
6　ワンタッチボタン 17

第 2 章　パソコンを使い始める前に

1　確認してください 20
機種名を確認してください 20
添付品がすべて揃っているか確認してください 20
2　使用上のお願い 21
パソコン本体取り扱い上の注意 21
パソコンを持ち運ぶときは 21
使用および保管に適さない場所 22
3　必要なものを揃える 23

第 3 章　電源を入れてパソコンの準備をする

1　初めて電源を入れる 26
AC アダプタを接続する 26
初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ 28
2　電源の切り方と入れ方 49
電源を切る 49
電源を入れる 54
3　通信の回線を接続する 57
こんな方法があります 57
一般の電話回線を使う場合 58
ISDN 回線を使う場合 61
携帯電話／ PHS を使う場合 62
ADSL 回線を使う場合 63
4　ユーザー登録をする 64
パソコンの画面上でユーザー登録をする 64
5　準備が完了したら 65
パソコンの準備はすべて完了していますか？ 65
パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ 65
ファミリーネットワークステーション -T をお使いになる場合
（NB16C/ST のみ） 65

第 4 章　目的に合わせて接続／設定する

1　周辺機器（メモリなど）を取り付ける 68
取り扱い上の注意 68
「画面で見るマニュアル」をご覧ください 69
2　テレビを見る準備をする
（NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T の場合のみ） 72
必要なものを用意する 72
接続する 73
テレビを見る 74
テレビを見るときの注意 75
3　USB スピーカーを接続する（NB18C/T の場合のみ） 76
接続する 76

第 5 章　付　録

1　仕様一覧 80
パソコン本体 80
仕様一覧の※印について 88
スピーカー（NB18C/T のみ） 89
2　リサイクルについて 90

索　引 94

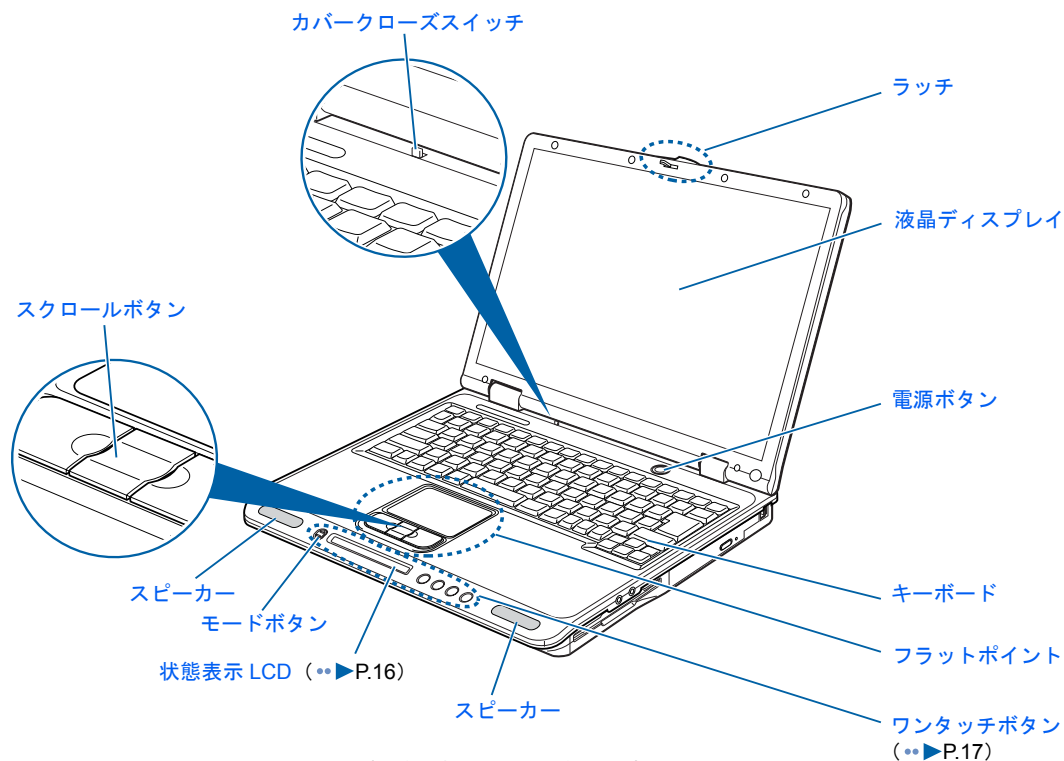
第 1 章

各部名称

パソコンの各部の名称について説明しています。

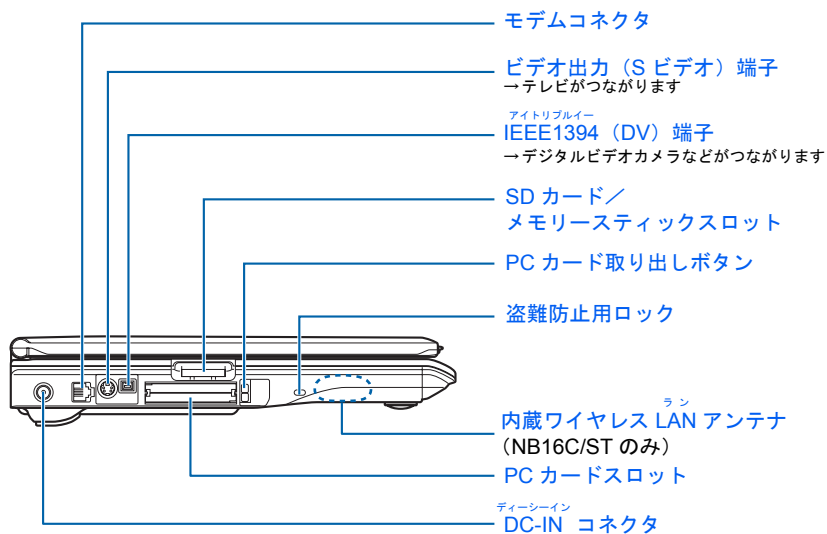
1　パソコン本体前面 10
2　パソコン本体側面 11
3　パソコン本体背面 14
4　パソコン本体下面 15
5　状態表示 LCD 16
6　ワンタッチボタン 17

1 パソコン本体前面

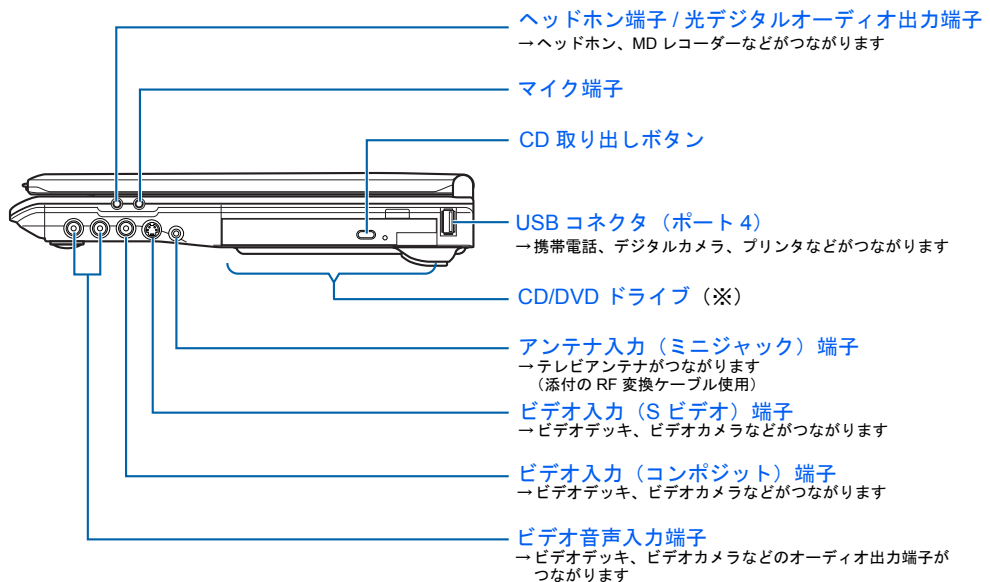
※イラストは機種や状況により異なります。

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体前面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（••▶P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

2 パソコン本体側面

機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶P.20）をご覧ください。

パソコン本体左側面

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

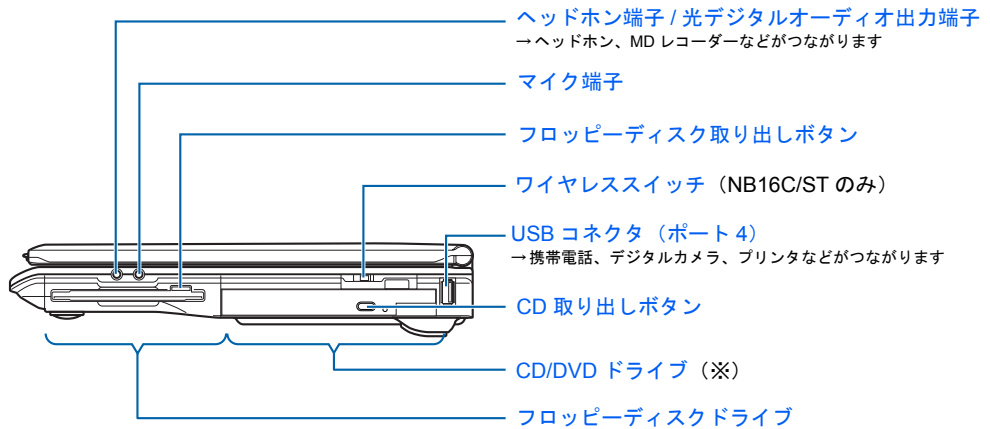
パソコン本体右側面

■ NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T の場合

※イラストは機種や状況により異なります。

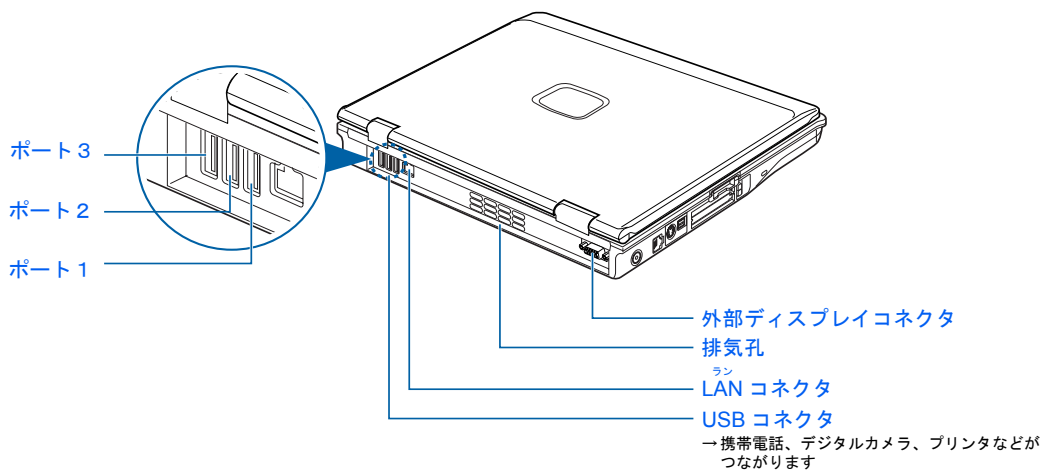
NB18C/T をお使いの方は、DVD Multi（マルチ）ドライブになります。
NB16C/T をお使いの方は、DVD-R/RW ドライブになります。
NB16CN/T をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。

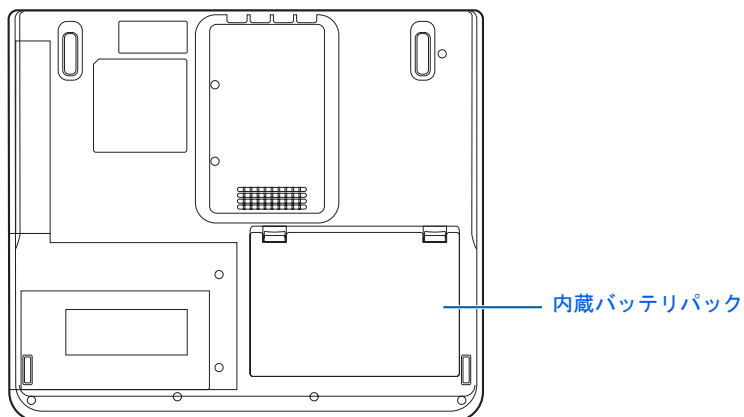
・DVD-Multi（マルチ）ドライブ
・CD-RW/DVD-ROM ドライブ

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.28 〜 P.48）が終了してからご利用ください。

■NB18C, NB16C/V, NB16C/ST, NB16C, NB16C/A, NB16C/R, NB18CN, NB16CN の場合

※イラストは機種や状況により異なります。
NB18C, NB16C/ST, NB16C, NB16C/A をお使いの方は、CD-RW/DVD-ROM ドライブになります。
NB16C/V をお使いの方は、DVD-R/RW ドライブになります。
NB16C/R をお使いの方は、CD-R/RW ドライブになります。
NB18CN をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・DVD Multi（マルチ） ドライブ
・CD-RW/DVD-ROM ドライブ
NB16CN をお使いの方は、選択したドライブにより、次のいずれかになります。
・CD-R/RW ドライブ
・CD-RW/DVD-ROM ドライブ
・DVD-R/RW ドライブ

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体側面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（••▶P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

3 パソコン本体背面

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体背面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

4 パソコン本体下面

（イラストは機種や状況により異なります）

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：パソコン本体下面」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

5 状態表示 LCD

（イラストは機種や状況により異なります）

1 SUS/RES（サスレス）表示（ ）

2 AC アダプタ表示（ ）

3 ・バッテリ装着表示（ ）

・バッテリ充電表示（ ）

・バッテリ残量表示（ ）

4 CD アクセス表示（ ）

5 ハードディスクアクセス表示（ ）

6 フロッピーディスクアクセス表示（ ）

（NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T を除く）

7 PC カードアクセス表示

（ 1 、 2 ）

8 Num Lock（ニューメリカルロック）表示（ ）

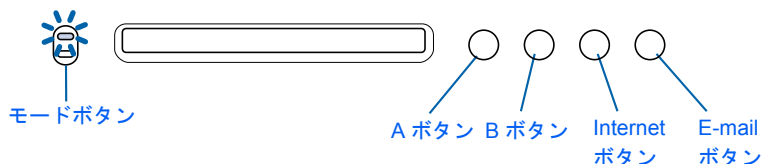
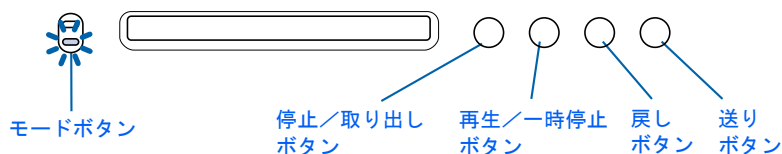
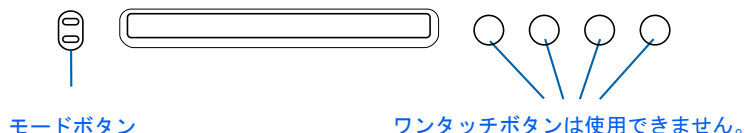
9 Caps Lock（キャップスロック）表示（ ）

10 Scroll Lock（スクロールロック）表示（ ）

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「各部の名称と働き：状態表示 LCD」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（→P.28 ～ P.48）が終了してからご利用ください。

6 ワンタッチボタン

ワンタッチボタンの機能は、モードボタンを押すと切り替わります。また、モードボタンを長めに押すと（約 2 〜 3 秒）「Lock」モードになり、ワンタッチボタン機能を停止することができます。

Application が点灯しているとき（「Application」モード）

Player が点灯しているとき（「Player」モード）

Application、Player とも消灯しているとき（「Lock」モード）

「Lock」モードはモードボタンを長めに押すと（約 2 〜 3 秒）解除できます。

詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「ワンタッチボタンを使う」をご覧ください。なお、サービスアシスタントは、Windows のセットアップ（▶P.28 〜 P.48）が終了してからご利用ください。

第 2 章

パソコンを使い始める前に

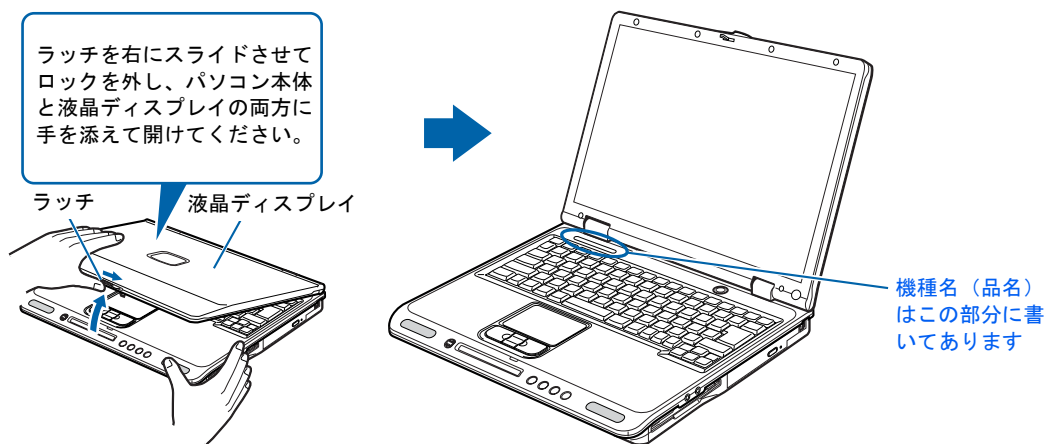
最初に確認していただきたいことと、使用上の注意事項などを説明しています。

1　確認してください . . . .　20
2　使用上のお願い . . . .　21
3　必要なものを揃える . . . .　23

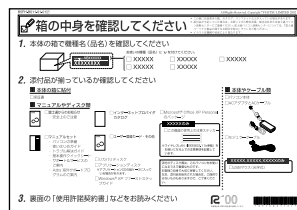
確認してください

最初に確認していただきたいことを説明します。

機種名を確認してください

お使いの機種によって、マニュアルを読む箇所が異なります。お使いのパソコンの機種名（品名）を確認しましょう。

添付品がすべて揃っているか確認してください

『箱の中身を確認してください』をご覧になり、添付品をもう一度ご確認ください。
もし足りない部品などがあった場合は、できるだけ早く、ご購入元または富士通パソコン診断センターにご連絡ください。富士通パソコン診断センターについては、『富士通パーソナル製品に関するお問合せ窓口』チラシをご覧ください。

箱の中身を確認してください
1. 本体の箱で機種名(品名)を確認してください
2. 添付品が揃っているか確認してください
3. 裏面の「使用許諾契約書」などをお読みください

（機種により若干異なります）

2 使用上のお願い

誤動作や故障を防ぐため、以下のことにご注意ください。

パソコン本体取り扱い上の注意

- 衝撃や振動を与えないでください。
- 分解しないでください。
- 電源を入れたまま（スタンバイ中を含む）の状態で持ち運ばないでください。
- 排気孔（••▶P.14）はふさがないでください。パソコン内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- 排気孔（••▶P.14）の近くに物を置かないでください。排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物が熱くなることがあります。
- 磁石や磁気ブレスレットなど、磁気の発生するものを近付けないでください。保存しているデータが消えてしまう恐れがあります。
- ワイヤレス LAN 機能を搭載している機種の場合
  ワイヤレス LAN 機器が発信する電波は、携帯電話の電波と同じように電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では、ワイヤレス LAN 機能を停止してください。
  病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知器の近く／その他、使用規制のある場所など

パソコンを持ち運ぶときは

パソコンを持ち運ぶ場合は、次のようにしてください。

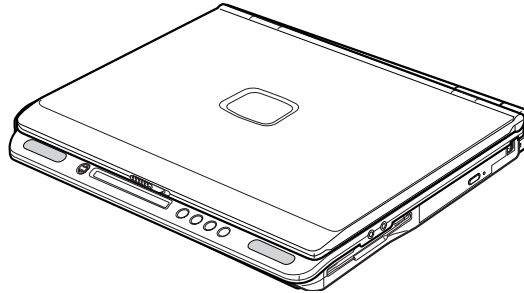
- パソコンの電源を切ってください。
- フロッピーディスクドライブ内蔵機種の場合、フロッピーディスクドライブにフロッピーディスクがセットされていないことを確認してください。
- 液晶ディスプレイを閉じてください。
- パソコンをかばんの中などに入れて携帯する場合は、パソコン本体背面を下側に、ラッチを上側にして、かばんに入れてください。

使用および保管に適さない場所

- 極端に高温または低温になる場所
（本装置の使用環境は 5 ℃～ 35 ℃、保存環境は－ 10 ℃～ 60 ℃です）
- 直射日光の当たる場所
- 衝撃や振動の加わる場所
- 磁石や磁気ブレスレットなど磁気を発生するものの近く
- ほこりの多い場所
- 水など液体のかかる場所
- 湿度の高い場所

3 必要なものを揃える

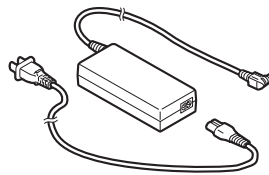
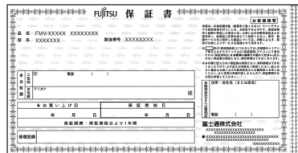
必要なものをあらかじめ揃えてから、第 3 章へ進みましょう。

■パソコン本体

（イラストは機種や状況により異なります）

■AC アダプタと AC ケーブル

■保証書

FUJITSU 保 証 書

富士通株式会社

梱包箱に貼り付けられています。

続いて、電源を入れてパソコンの準備をしましょう（▶P.26）。

第 3 章

電源を入れてパソコンの準備をする

初めてパソコンの電源を入れるとき最初に行う準備について説明しています。このマニュアルの手順どおりに進めてください。

1　初めて電源を入れる 26
2　電源の切り方と入れ方 49
3　通信の回線を接続する 57
4　ユーザー登録をする 64
5　準備が完了したら 65

初めて電源を入れる

AC アダプタを接続する

AC アダプタは、差し込み口の形状をよく確認して、奥までしっかりと差し込んでください。

・近くで雷が起きたときは、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、パソコンを破壊し、火災の原因となります。

・AC アダプタは正しく接続してください。
誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体が故障する原因となることがあります。

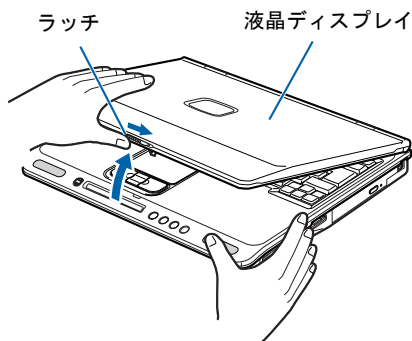
セットアップ前には周辺機器は接続しないでください

プリンタやターミナルアダプタ（TA）、LAN ケーブルなどの周辺機器が接続されていると、初めて電源を入れてから行う操作（Windows のセットアップ）の途中でパソコンが動かなくなってしまうことがあります。Windows のセットアップが終わった後で、周辺機器のマニュアルをご覧になり、接続してください。LAN ケーブルの接続方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「LAN を使う」をご覧ください。

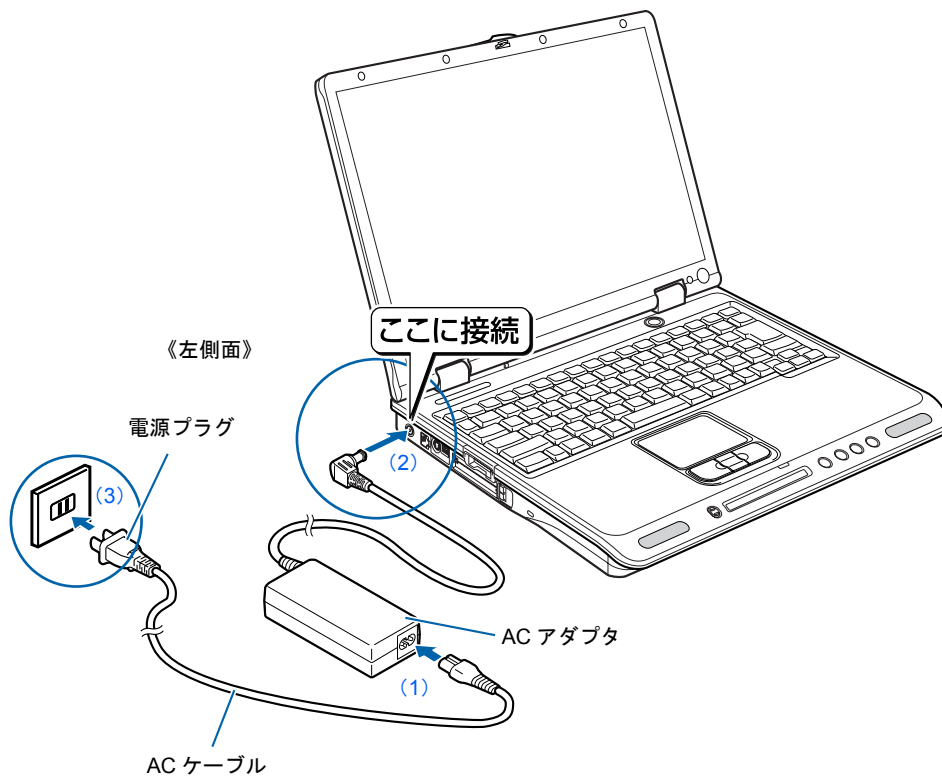
AC アダプタは熱くなる場合があります

パソコンの使用中は、AC アダプタが熱くなることがありますが、異常ではありません。

1 液晶ディスプレイを開きます。

ラッチを右にスライドさせてロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 AC アダプタを取り付けます。

AC アダプタに AC ケーブルを接続し（1）、パソコン本体の DC-IN コネクタに接続します（2）。その後、電源プラグをコンセントに接続します（3）。
正しく接続すると、状態表示 LCD に ⎓ が表示されます。

初めて電源を入れる〜 Windows のセットアップ

初めて電源を入れるときは、Windows のセットアップという作業が必要です。Windows のセットアップとは、初めてパソコンの電源を入れるときに、1 回だけ行う操作です。このマニュアルの手順どおりに進めてください。この Windows のセットアップが終わらないと、パソコンは使えるようになりません。

セットアップ時の注意事項

セットアップが終わるまで電源を切らないでください

Windows のセットアップの途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。セットアップの最後の手順が終わるまでは、電源を切らないでください。もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

しばらく操作しないと

電源を入れた状態でしばらく（約 10 分間）操作しないと、動画（スクリーンセーバー）が表示されたり、画面が真っ暗になったりすることがありますが、電源が切れたわけではありません。これはパソコンの省電力機能が働いている状態です。
フラットポイントの操作面に触れたり、キーボードの【↑】【↓】【←】【→】や【Shift】のどれかを押したりすると、元の画面に戻ります。それでも戻らない場合は、電源ボタン（▶P.10）を押してください（4 秒以上押し続けないでください。パソコンの電源が切れてしまいます）。

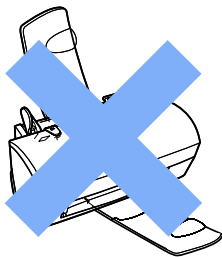
Windows のセットアップを始めましょう。

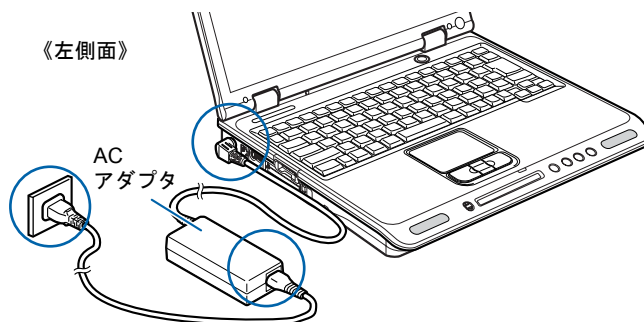
「Windows のセットアップ」とは、次の 4 つの作業のことです。合計 42 手順あります。ページの右端にセットアップの進行状況を示していますので参考にしてください。

1 「Windows の設定」▶手順 1 〜 13
2 「必ず実行してください」の実行▶手順 14 〜 22
3 「サービスアシスタントの起動・終了方法」▶手順 23 〜 30
4 「所在地情報の設定」▶手順 31 〜 42

Windows の設定

1 **AC アダプタ以外に何も接続されていないことを、確認します。**

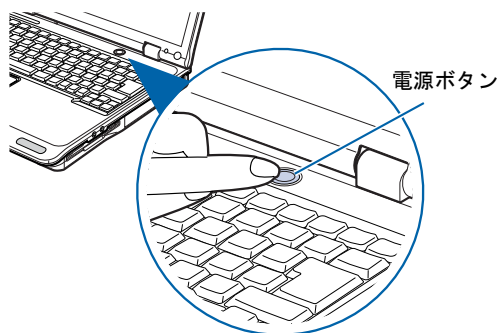
このマニュアルで説明していない添付品や、その他の機器が接続されていると、セットアップの途中でパソコンが動かなくなることがあります。

2 AC アダプタがきちんと接続されているか、確認します。

念のため、AC アダプタをもう一度お確かめください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

3 ワンタッチボタンを「Lock」モードにします。

モードボタンのランプが上下とも消灯していることを確認してください。どちらかのランプが点灯している場合には、モードボタンを長めに押して（約 2 〜 3 秒）、モードボタンのランプが上下とも消灯したことを確認してください。詳しくは、「ワンタッチボタン」（••▶P.17）をご覧ください。

4 電源を入れます。

電源ボタンを押します。

重 要

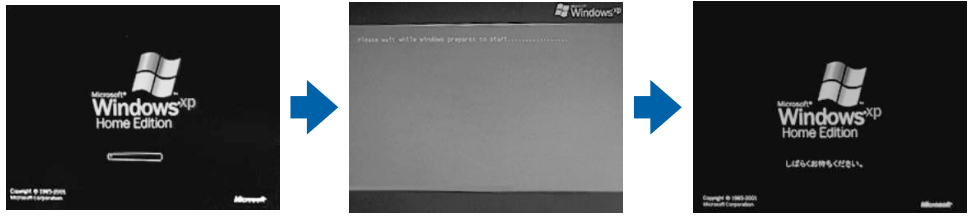
電源ボタンは 4 秒以上押さないでください

電源ボタンを 4 秒以上押し続けると、パソコンの電源が切れてしまいます。

Windows の設定
「必ず実行してください」の実行
サービスアシスタントの起動・終了方法
所在地情報の設定

電源を切らずに次のページへ

5 そのまましばらくお待ちください。

電源を入れると、次のような画面が表示されます。

※画面は Windows XP Home Edition のものです。Windows XP Professional の場合は、一部表示が異なります。

この間、画面が真っ暗になったり、画面に変化がなかったりすることがありますが、故障ではありません。

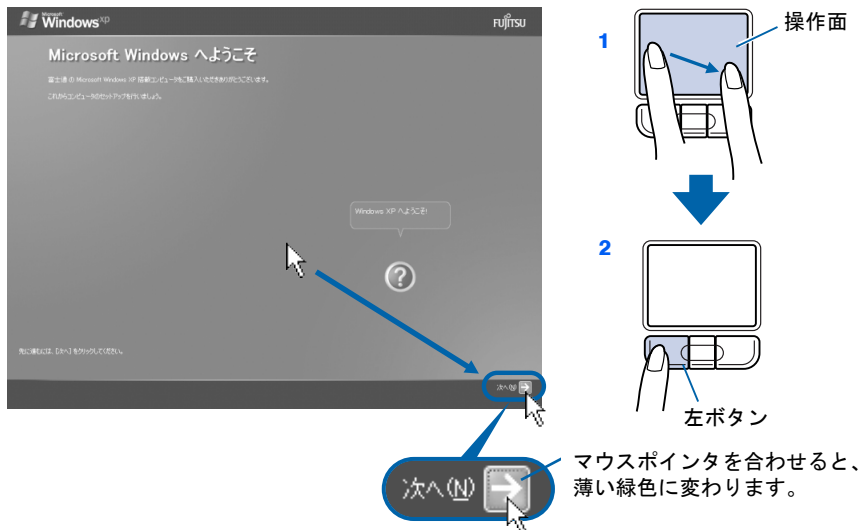
手順 6 の画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。

途中で電源を切ると、Windows が使えなくなる場合があります。

もし電源を切って Windows が使えなくなった場合は、『トラブル解決ガイド』→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」→「Q パソコンの電源を入れると、再起動を繰り返す」をご覧ください。

6 1 画面上の を「次へ」の右の に合わせ、2 フラットポイントの左ボタンを軽くカチッと 1 回押して、すぐ離します。

指先で、フラットポイントの操作面をなぞると、指の動きに合わせて、(マウスポインタ)が画面の上を動きます。

2 の操作のことを、「クリック」といいます。

これ以降は機種により画面が異なる場合があります

このマニュアルと違う画面が表示された場合は、画面の指示に従い、手順 13 まで進めてください。

キーボードやフラットポイントで操作できない場合

キーボードやフラットポイントが効かなくなった場合は、「使用上のお願い」（▶P.21）をご覧になり、パソコンを設置している環境を確認してください。それでも操作できない場合は、次の手順に従ってパソコンの電源を入れ直してください。

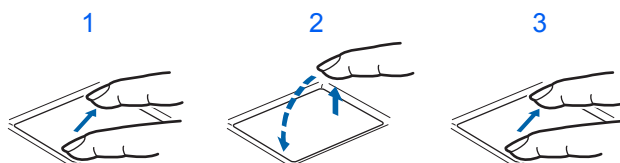
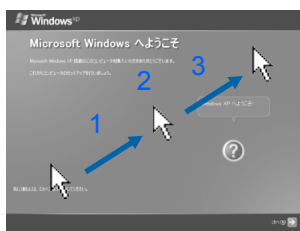
1. 本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して電源を切ります。
2. 10 秒以上たってから、電源ボタンを押して電源を入れます。

指が操作面の端まできたら

いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインタは動きません。

1

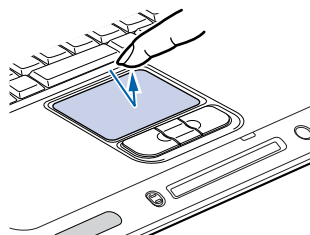
2

3

指を離している間はマウスポインタは動きません。

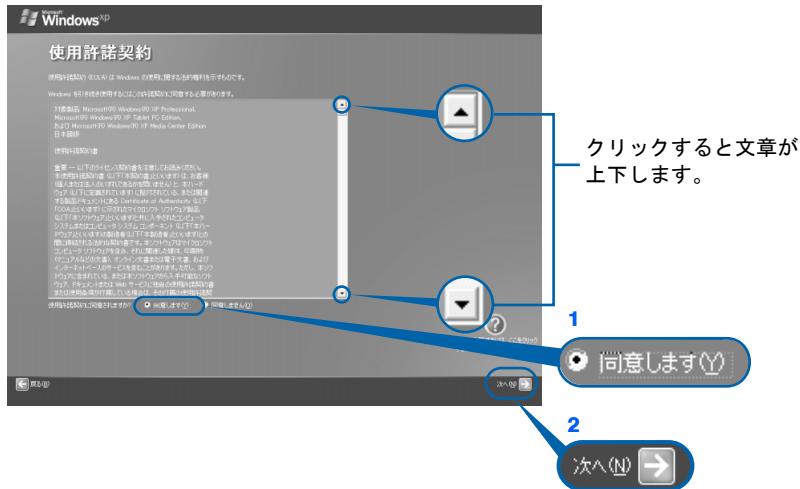
ボタンは軽く押すだけで OK!

フラットポイントのボタンは力を入れて押す必要はありません。カチッと 1 回押したら、すぐ指を離すようにします。

操作面を軽くたたいても、クリックになります

フラットポイントは、操作面を軽くたたいてもクリックができます。操作面に指をのせるときに、間違ってクリックしないように注意してください。

うまくクリックできない場合

なるべくボタンの中央部分を押すようにしてください。また、ボタンを押すときや離すときに、ポインタの位置がずれないように、気を付けてください。

7 **1 Windows の使用許諾契約書の内容をご覧になり、ご同意いただけるときは「同意します」をクリックしてにし、2「次へ」の右のをクリックします。**

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

重 要

「同意しません」をクリックした場合

「続ける前に…」という画面が表示されます。使用許諾契約書にご同意いただけないと、このパソコンはお使いになれません。
手順 7 の画面に戻るには、表示された画面で「戻る」の左のをクリックしてください。

8 **「次へ」の右のをクリックします。**

ここでは何も入力しません。コンピュータの名前は後から入力できます。詳しくは、Windows のヘルプを「アカウント」で検索し、「ユーザーのアカウントの種類を変更する」または「ユーザーのグループまたはアカウントの種類を変更する」をご覧ください。

次の画面が表示されるまでお待ちください。

手順 9、10 の画面は Windows XP Professional の場合のみ表示されます。Windows XP Home Edition の場合は表示されないので、手順 11 へ進んでください。

9 「次へ」の右の をクリックします。

ここでは何も入力しません。管理者パスワードは後から設定できます。詳しくは、Windows のヘルプを「パスワード」で検索し、「ユーザーのパスワードを変更する」をご覧ください。

10 「いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません」の左が になっていることを確認し、「次へ」の右の をクリックします。

ドメインの設定は後から行えます。詳しくは Windows のヘルプを「ドメイン」で検索し、「ドメインに参加する」をご覧ください。

電源を切らずに次のページへ

11 「次へ」の右の をクリックします。

POINT

インターネット接続の設定は

セットアップが最後まで終わってから、「3 通信の回線を接続する」（••▶P.57）をご覧になり、設定します。

こんな画面が出た！

「インターネット接続が選択されませんでした」または「インターネットに接続する方法を指定してください」という画面が表示された場合は、「省略」の右の をクリックします。インターネット接続の設定は、セットアップが最後まで終わってから、「3 通信の回線を接続する」（••▶P.57）をご覧になり、設定してください。

12 1「いいえ、今回はユーザー登録しません」をクリックして にし、2「次へ」の右の をクリックします。

POINT

「はい、今すぐユーザー登録します」を選択して進んでしまった場合

「ユーザー登録情報を入力してください」という画面で「戻る」の左の をクリックして、手順 12 からやり直します。

「今すぐインターネットアクセスのセットアップを行いますか？」という画面が表示された場合

「いいえ、今回はインターネットに接続しません」をクリックして にし、「次へ」の右の をクリックします。

13 「完了」の右の をクリックします。

次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

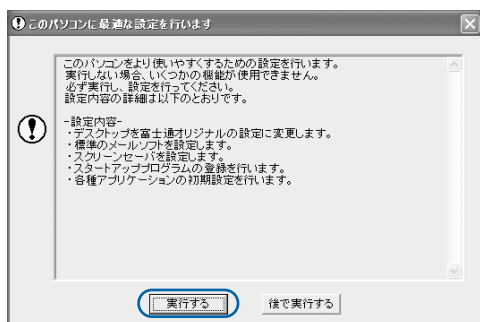
電源を切らずに次のページへ

「必ず実行してください」の実行

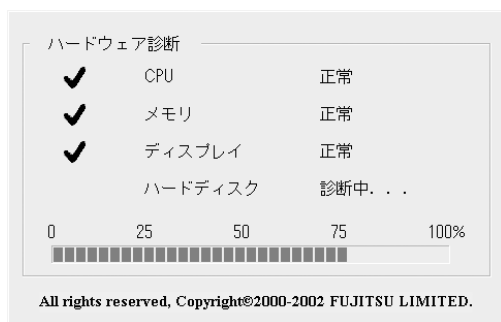
14 **1「スタート」ボタン→ 2 必ず実行してください の順にクリックします。**

必ず実行してください は、パソコンの初期設定を行うプログラムです。以降の手順は最後まで必ず実行してください。実行しないと、いくつかの機能がお使いになれません。

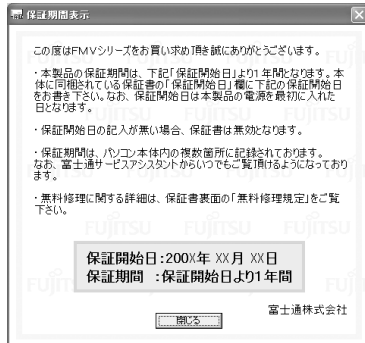
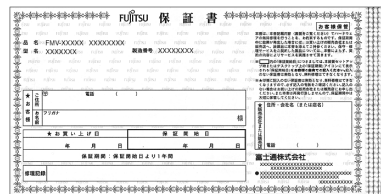
（これ以降の画面は状況により異なります）

15 **「実行する」をクリックします。**

16 **ハードウェア診断が始まり、次の画面が表示されます。手順 17 の画面が表示されるまで、そのままお待ちください。**

途中、ディスプレイを診断する画面なども表示されます。

重要

ハードウェア不良の画面が表示された場合

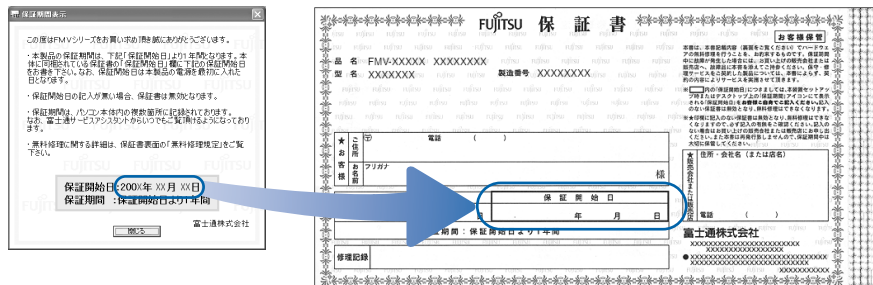
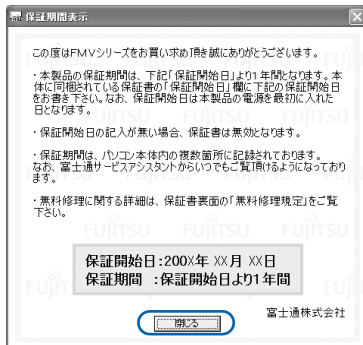
画面の指示に従ってください。

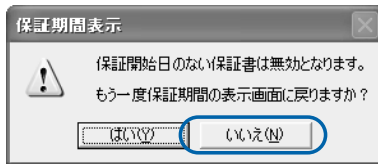
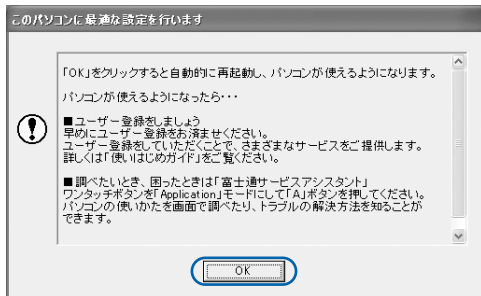
17 この画面が表示されたら、保証書を用意します。

保証書は梱包箱に貼り付けられています。

18 画面に表示された保証開始日を、保証書に書き写します。

保証書に保証開始日が記入されていないと、保証期間内であっても有償での修理となります（なお、保証開始日は本製品の電源を最初に入れた日になります）。

保証書は大切に保管してください。

19 「閉じる」をクリックします。

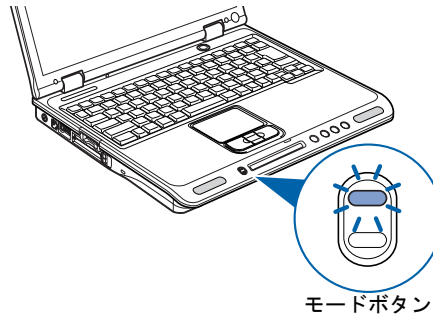
電源を切らずに次のページへ

20 次の手順に進んで良ければ「いいえ」をクリックします。

もう一度保証期間を確認したいときは「はい」をクリックしてください。

21 「OK」をクリックします。

画面がいったん暗くなり、パソコンの再起動が始まります。
次の画面が表示されるまで、少し時間がかかることがありますが、そのままお待ちください。

22 画面が表示されたことを確認します。

サービスアシスタントの起動・終了方法

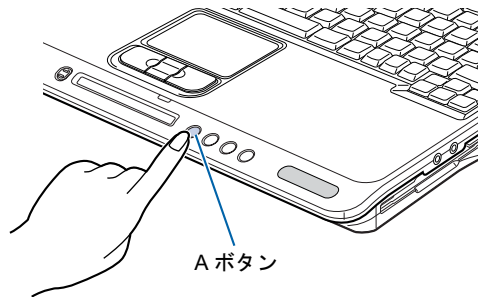
サービスアシスタントは、パソコンの操作でわからないことがあったとき、困ったときにご覧ください。ここでは、サービスアシスタントを一度起動・終了してみます。

23 モードボタンを何回か押して Application のランプを点灯させ、「Application」モード（▶P.17）にします。

（イラストは機種や状況により異なります）

POINT

ワンタッチボタンの「Lock」モードを解除してください

ワンタッチボタンが「Lock」モードになっている場合は、モードボタンを長めに押して（約 2 ～ 3 秒）、「Lock」モードを解除してください。

24 ワンタッチボタンの「A」ボタンを押します。

POINT

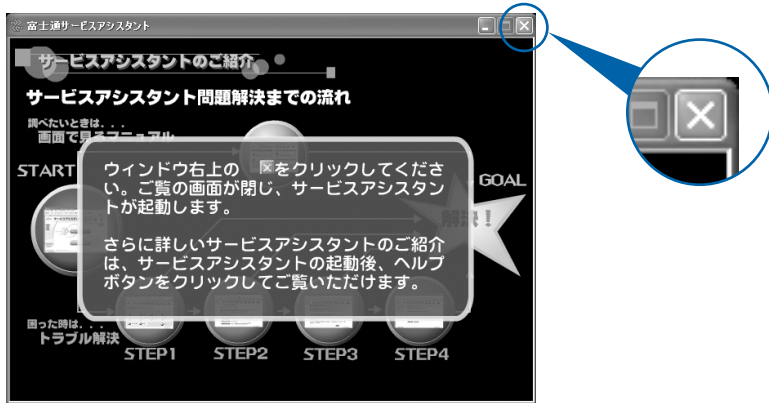
機種を選択する画面が表示されたときは

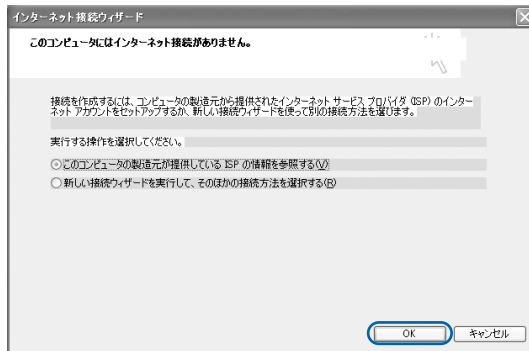
別紙などで特に指示がない限り、お使いの機種名（品名）を選んでください。
機種名の調べ方は「機種名を確認してください」（▶P.20）をご覧ください。

25 「サービスアシスタントのご紹介」を最後までご覧ください。

「サービスアシスタント」の内容や使い方について、音声と映像で説明しています。

Windows の設定
「必ず実行してください」の実行
サービスアシスタントの起動・終了方法
所在地情報の設定

26 次の画面が表示されたら、× をクリックします。

27 「OK」をクリックします。

インターネット接続の設定は後で行います。ここではインターネットに接続しません。

POINT

最新のサポート情報をインターネットでご案内しています

サービスアシスタントには､インターネットを使って最新のサポート情報を表示する機能があります。この機能はインターネット接続の設定を行うと利用できるようになります。セットアップが最後まで終わってから「3 通信の回線を接続する」（••▶P.57）をご覧になり、設定してください。

@nifty を紹介する画面が表示されます。@nifty に入会したい方は、『使いはじめガイド』をご覧になり、後で入会手続きを行ってください。

28 ウィンドウの右上にある をクリックします。

サービスアシスタントが起動します。

これがサービスアシスタントの最初の画面です。「ヘルプ」をクリックすると詳しい使い方がわかります。

電源を切らずに次のページへ

29 続けてセットアップを行うので、サービスアシスタントの最初の画面で「終了」をクリックし、サービスアシスタントを終了します。

30 「はい」をクリックします。

サービスアシスタントが終了します。

POINT

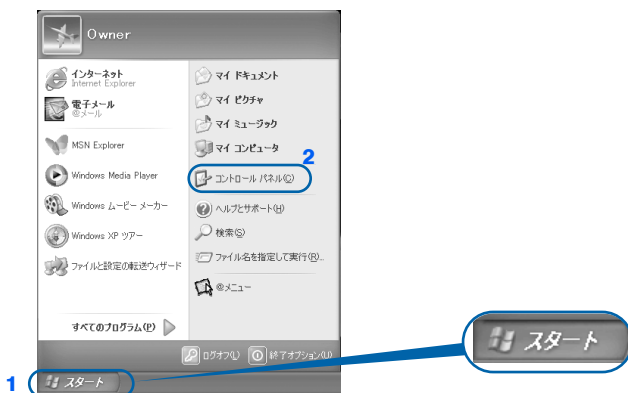
この後、続けて操作を行ってください

この後の所在地情報の設定は、インターネットに接続するときなどに必要になります。このまま手順を最後まで続けてください。

これ以降サービスアシスタントを起動するには

「Application」モードに切り替えた後、「A」ボタンを押してください。手順 25 ～ 28 の画面は、サービスアシスタントを初めて起動したときだけ表示されます。

所在地情報の設定

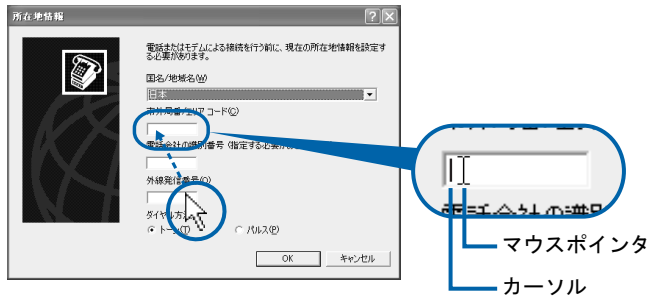
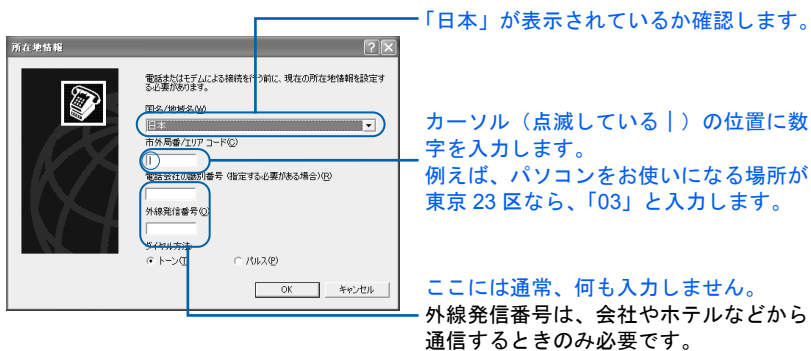
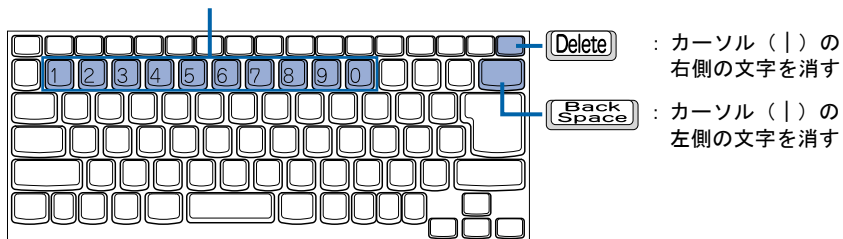
31 1「スタート」ボタン→ 2「コントロールパネル」の順にクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

32 （プリンタとその他のハードウェア）をクリックします。

33 （電話とモデムのオプション）をクリックします。

電源を切らずに次のページへ

34 「市外局番」の下の空欄に[マウスポインタ]を合わせ、[I]に変わったらクリックします。

クリックすると文字を入力するためのカーソル（｜）が点滅して表示されます。

35 パソコンをお使いになる場所の市外局番を入力します。

POINT

数字が入力できない場合

市外局番の欄にカーソル（｜）が点滅していることを確認してください。
カーソル（｜）がない場合は、入力したい欄をクリックしてカーソルを表示させます。

文字を消したい場合

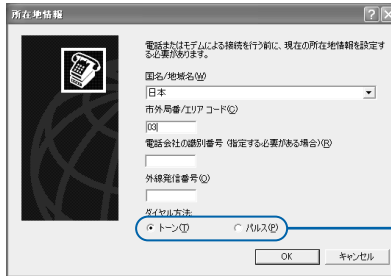
カーソル（｜）の左側の 1 文字を消すには：［Back Space］を押します。
カーソル（｜）の右側の 1 文字を消すには：［Delete］を押します。

「入力した文字が無効です」と表示された場合

画面右下がになっていない場合は、［半角/全角］を押します。

市外局番を入力せずに「OK」をクリックしてしまった場合

「電話とモデムのオプション」という画面が表示されます。「編集」をクリックし、市外局番を入力した後、次の手順に進んでください。手順 37 までは画面が異なりますが、手順に従って、該当する項目を操作してください。

36 ダイヤル方法を設定します。

インターネットなどに使う電話回線のダイヤル方法を設定します。詳しくは、次の POINT をご覧ください。
回線の種類がわからない場合は、「トーン」をクリックしてください。

POINT

一般の電話回線を使う場合

ダイヤル方法は次の方法で確認します。

ダイヤル式電話機をお使いの場合

プッシュ式電話機をお使いの場合

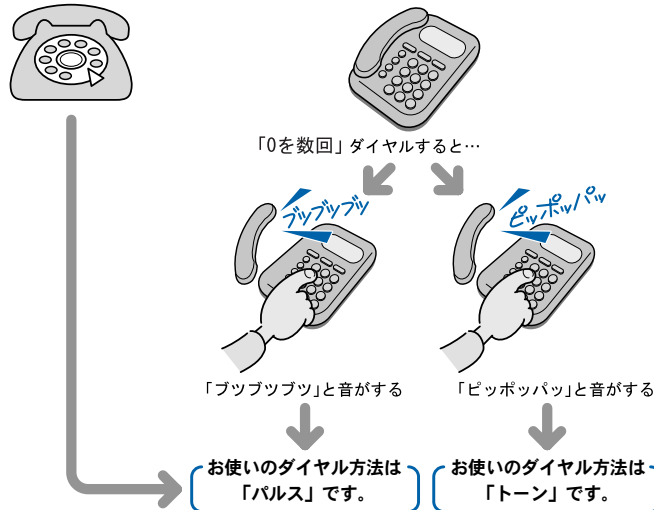
「0を数回」ダイヤルすると…

ブツブツブツ

ピッポッパッ

「ブツブツブツ」と音がする

「ピッポッパッ」と音がする

お使いのダイヤル方法は「パルス」です。

お使いのダイヤル方法は「トーン」です。

ISDN 回線や携帯電話／ PHS をお使いになる場合

ダイヤル方法は、「トーン」です。

どうしても電話回線のダイヤル方法がわからない場合

ご契約の電話会社に直接お問い合わせください。
なお、次のサービスをお使いの場合はうまく通信できないことがあります。

・ホームテレホン　・キャッチホン　・ビジネスホン

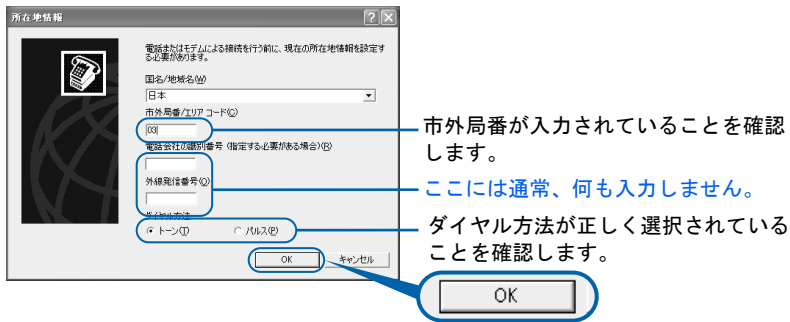
設定した市外局番や電話回線のダイヤル方法を変えたい場合

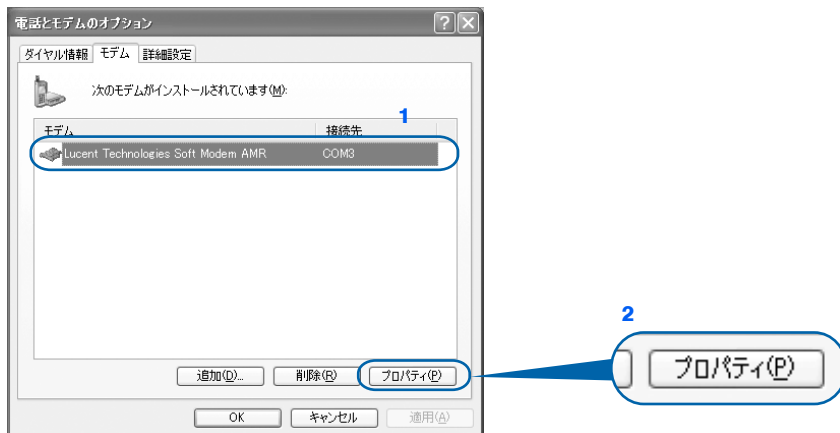
引っ越しなどで後から市外局番やダイヤル方法の設定を変えたいときは､次のように設定し直します。

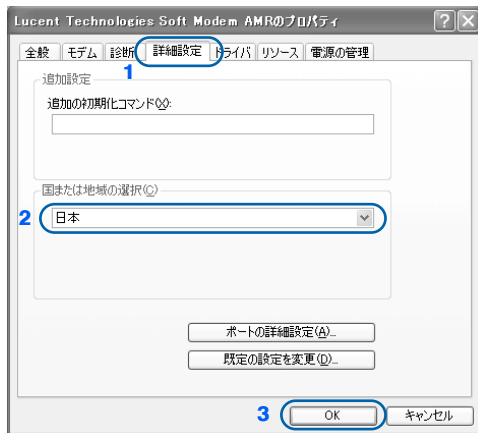
1. 「スタート」ボタン→「コントロールパネル」の順にクリックします。
   「コントロールパネル」ウィンドウが表示されます。
2. 「プリンタとその他のハードウェア」→「電話とモデムのオプション」の順にクリックします。
3. 「ダイヤル情報」タブの設定を変更します。
4. 「OK」をクリックします。
5. 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの ✕ をクリックします。

電源を切らずに次のページへ

37 正しく入力できているか確認し、「OK」をクリックします。

正しく入力されていないと、インターネットに接続できません。

38 「モデム」タブをクリックします。

39 1「Lucent Technologies Soft Modem AMR」をクリックし、2「プロパティ」をクリックします。

40 1「詳細設定」タブをクリックし、2「国または地域の選択」で、「日本」が表示されていることを確認し、3「OK」をクリックします。

「日本」が表示されていない場合は をクリックし、「日本」を選択します。

41 「OK」をクリックします。

42 「プリンタとその他のハードウェア」ウィンドウの をクリックします。

電源を切らずに次のページへ

これで Windows のセットアップは終わりです。続いて、電源の切り方と入れ方を覚えましょう（••▶P.49）。

POINT

アプリケーションを起動するには

アプリケーションは、@メニューから起動してください（@メニューには､「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」から起動できないアプリケーションも登録されています)。
詳しくは､『使いはじめガイド』→「使いはじめ編」→「このパソコンでできることを調べる」→「FMVの楽しみかた」をご覧ください。

2 電源の切り方と入れ方

電源の切り方と入れ方はとても重要です。正しい方法を覚えてください。

注意

けが

・フロッピーディスクや CD や DVD を取り出す場合は、フロッピーディスクドライブの差し込み口や CD/DVD ドライブのトレーに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。

電源を切る

必ず、次の手順で Windows の終了処理を行ってください。Windows の終了処理を行うと、自動的に電源が切れます。

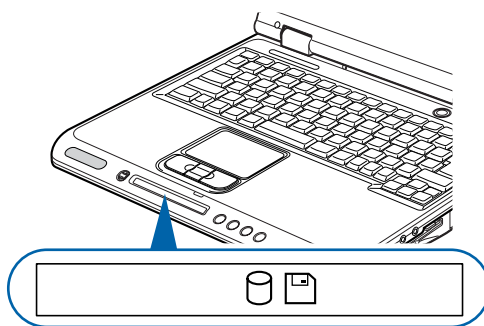
1 それまで行っていた作業を終了します。

アプリケーションを起動している場合は、作業中のデータを保存し、アプリケーションを終了します。
例えばワープロソフトを使って文書を作成中の場合は、文書データを保存し、ワープロソフトを終了します。

POINT

アプリケーションを終了しなかった場合

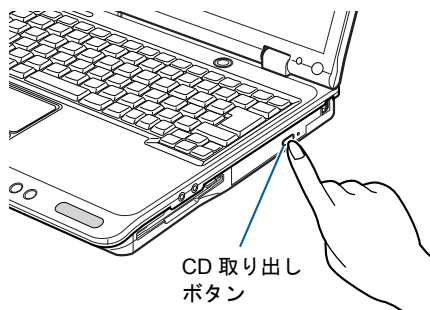
アプリケーションを起動したままこれ以降の操作を進めると、途中で作業中のデータを保存するか確認するメッセージが表示されることがあります。誤操作の原因となるので、あらかじめアプリケーションを終了してください。

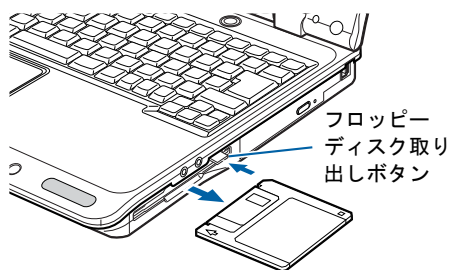
2 状態表示 LCD の や が点灯していないことを確認します。

状態表示 LCD

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

次のページへ

3 CD、DVD やフロッピーディスクがセットされていたら取り出します。

■CD、DVD の取り出し方

■フロッピーディスクの取り出し方

NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T にはフロッピーディスクドライブが内蔵されていないので、この操作は不要です。

POINT

CD や DVD を入れたままだと

パソコンの電源を切ってしまうと、CD や DVD は取り出せません。

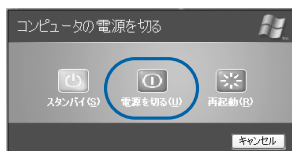
フロッピーディスクを入れたままだと

次にパソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、【Enter】を押してください。

4 「スタート」ボタンをクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

5 「終了オプション」をクリックします。

6 「電源を切る」をクリックします。

しばらくすると、Windows が終了し、パソコンの電源が自動的に切れます（画像が暗くなり、状態表示 LCD の ⏻ が消えます)。

次のページへ

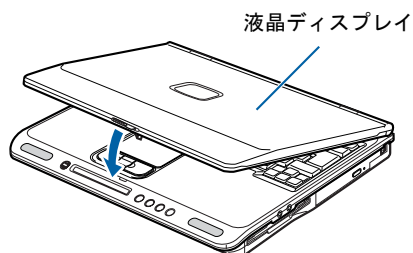
POINT

電源が切れない場合

パソコンが動かなくなり（フラットポイントやキーボードが操作できないなど）、電源が切れないときは、次のように操作してください。

【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を押してアプリケーションを強制終了し、その後で電源を切ってください。アプリケーションの強制終了については、『トラブル解決ガイド』→「Q&A 集」→「画面の表示がおかしい、操作ができないトラブル」→「Q 操作中に画面が動かなくなった」をご覧ください。

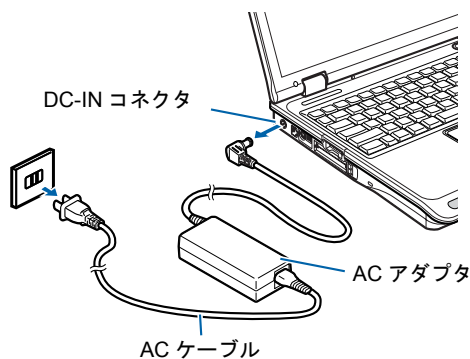
強制終了もできないときは、パソコン本体前面の電源ボタンを 4 秒以上押して、強制的に電源を切ってください。

7 液晶ディスプレイを閉じます。

重 要

液晶ディスプレイは静かに閉じてください

閉じるときに液晶ディスプレイに強い力が加わると、液晶ディスプレイが故障する原因となることがあります。

AC アダプタの取り外しについて

パソコン本体を持ち運ぶときや、周辺機器の取り付け・取り外しをするとき、パソコンを長時間使わないときは、必ず、AC ケーブルの電源プラグをコンセントから抜き、AC アダプタを DC-IN コネクタから取り外します。

パソコン使用中に AC アダプタを取り外すときの注意

パソコンを使っている途中で AC アダプタを取り外し、バッテリでパソコンを使うときは、バッテリが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリが充電されていない場合があるので、ご注意ください。
確認方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」→「バッテリ残量を確認する」をご覧ください。

パソコンを使っていないときにバッテリを充電するには

パソコンを使っていないときにバッテリを充電するには、電源を切った後、AC アダプタを取り付けたままにしてください。

続いて、電源の入れ方を覚えましょう（••▶P.54）。

電源を入れる

重 要

電源を入れるときの注意

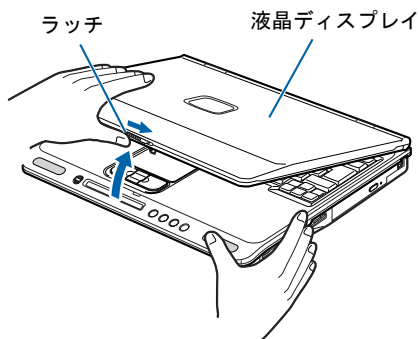
・電源を切った後は、次に電源を入れ直すまで 10 秒ほどお待ちください。
・パソコンを長時間お使いになる場合は、バッテリ切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。

バッテリで使うときの注意

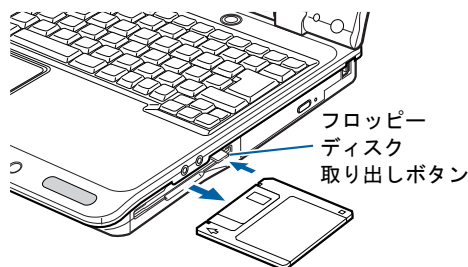
以下の場合は、バッテリが充電されていないことがあります。バッテリ残量を確認し、必要に応じてバッテリを充電してください。
・パソコンをご購入のとき
・約 1ヶ月以上充電していないとき

バッテリ残量の確認方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「パソコン本体の基本機能」→「バッテリで使う」をご覧ください。

1 液晶ディスプレイを開きます。

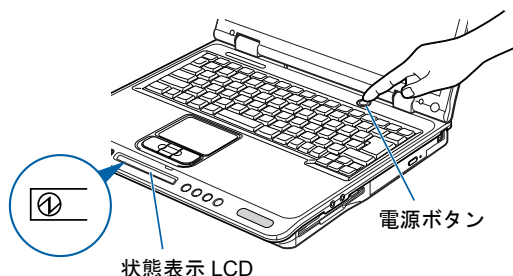
ラッチを右にスライドしてロックを外し、パソコン本体と液晶ディスプレイの両方に手を添えて開けてください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 フロッピーディスクがセットされていないことを確認します。

フロッピーディスクがセットされている場合は、フロッピーディスク取り出しボタンを押して、取り出します。NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T にはフロッピーディスクドライブが内蔵されていないので、この操作は不要です。

POINT

フロッピーディスクを入れたままだと

パソコンの電源を入れたときにエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージが表示されたときは、フロッピーディスクを取り出して、【Enter】を押してください。

3 電源ボタンを押します。

状態表示 LCD に ⏻ が表示されます。そのまま、しばらくお待ちください。

重 要

電源ボタンは短く押してください

電源ボタンは、4 秒以上押し続けると通常とは違う特別な働きをします（パソコンの電源が切れるので、作成中のデータが失われることがあります）。

次のページへ

4 このような画面が表示されたことを確認します。

（画面は機種や状況により異なります）

Windows が起動しない場合

バッテリ残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。次の点を確認してください。

・AC アダプタを取り付けているとき
　AC アダプタが正しく取り付けられているかを確認してください。
　「AC アダプタを接続する」（••▶P.26）

・バッテリで使うとき
　バッテリの残量が十分にあるかを確認し、足りなければ AC アダプタを取り付けてください。

以上の点を確認しても Windows が起動しない場合は、『トラブル解決ガイド』→「Q ＆ A 集」→「電源が入らない、画面が表示できないトラブル」をご覧ください。

続いて、通信の回線を接続しましょう（••▶P.57）。

3 通信の回線を接続する

このパソコンでオンラインユーザー登録やインターネットを利用するためには、回線接続などの準備が必要です。

こんな方法があります

次の方法でインターネットに接続することができます。ご自分に合った方法を選んでください。それぞれの接続や設定方法については、参照先のページをご覧ください。

一般の電話回線を使う

一般に使われている電話回線を使う方法です。このパソコンに内蔵されているモデムと、添付のモジュラーケーブルを使って接続できます。詳しくは、「一般の電話回線を使う場合」（••▶P.58）をご覧ください。

ISDN 回線を使う

ISDN 回線を使う方法です。一般の電話回線に比べて、高速で安定した通信ができます。ISDN 回線を使うには、市販の DSU（ディーエスーユー）およびターミナルアダプタ（TA）という装置が必要です。また、NTT へ ISDN 回線利用を申し込む必要があります。詳しくは、「ISDN 回線を使う場合」（••▶P.61）をご覧ください。

携帯電話／ PHS を使う

パソコンに携帯電話やPHS をつなげてインターネットに接続する方法です。携帯電話／PHS 本体のほかに接続用 USB ケーブルが必要です。詳しくは、「携帯電話／ PHS を使う場合」（••▶P.62）をご覧ください。

ADSL 回線を使う

一般の電話回線（アナログ回線）を使って、ISDN よりさらに高速にインターネットに接続する方法です。ADSL 回線を使うには、回線事業者（ADSL 接続サービスの提供会社）へ ADSL 回線利用を申し込む必要があります。詳しくは、「ADSL 回線を使う場合」（••▶P.63）をご覧ください。

ADSL 以外にも、次のような高速ブロードバンド・インターネットもご利用いただけます。

・ケーブルテレビ（CATV）インターネット

・光ファイバー（FTTH）

ブロードバンドについて詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

一般の電話回線を使う場合

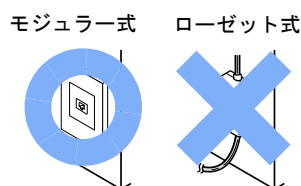
パソコンに内蔵されているモデムと、添付のモジュラーケーブルを使って、一般の電話回線と接続する方法です。

モデム名

このパソコンの内蔵モデムは「Lucent Technologies Soft Modem AMR」です。画面上でモデム名を選ぶ際は、このモデムを選んでください。

確認する

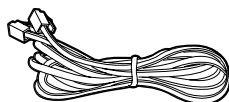
■電話回線の差し込み口

ローゼット式の場合は、モジュラー式の差し込み口への変更が必要です。
変更作業は、工事担任者またはその監督の下で行ってください。
最寄りのNTTの営業所または支店へ変更工事を依頼することもできます。

モジュラー式
ローゼット式
■通信回線の種類

接続する前に、通信回線が一般の電話回線（アナログ）であることをNTTに確認してください。

必要なものを用意する

次のものを用意してください。

■モジュラーケーブル（電話線）

電話回線を接続する

感電
・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。
落雷による感電の恐れがあります。

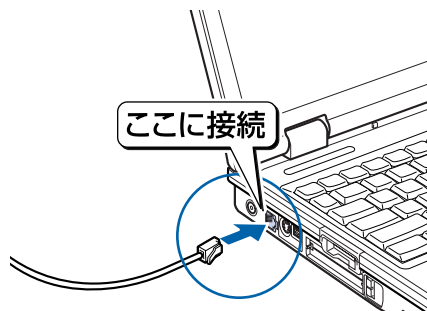
注意
感電
・電話回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。

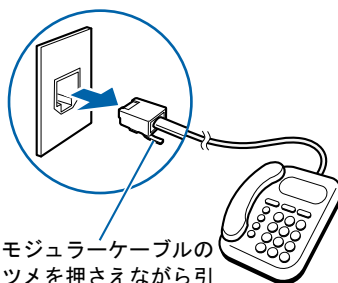
故障

・モジュラーケーブルを接続する場合は、必ずモデムコネクタに接続してください。別のコネクタに接続すると故障の原因となることがあります。

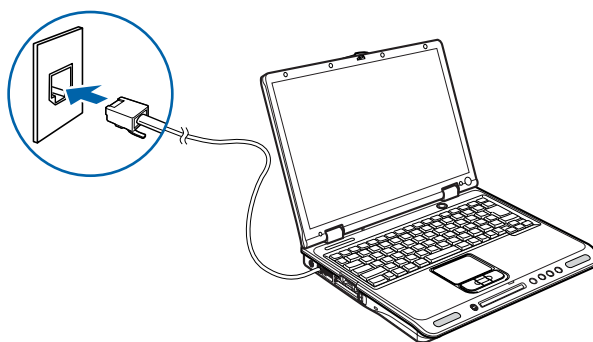
次の方法で添付のモジュラーケーブル（電話線）をパソコン本体に接続します。

1 **添付のモジュラーケーブルを、パソコン本体左側面にあるモデムコネクタに差し込みます。**

コネクタの向きに注意して、カチッと音がするまで差し込んでください。

（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

2 **お使いになっている電話機のモジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口から外します。**

3 **モジュラーケーブルを、電話回線の差し込み口に接続します。**

パソコン本体に接続したモジュラーケーブルの反対側を差し込みます。

次のページへ

POINT

インターネットをしている間は電話が使えません

インターネットをしている間は、電話機のモジュラーケーブルを取り外しているため、電話機が使えません。インターネットが終わったら、忘れずにモジュラーケーブルを差し替えてください。

キャッチホンを設定している場合

キャッチホンを設定している場合は、インターネットをしている間に電話がかかってくると、通信が切断されることがあります。

モジュラーケーブル使用上の注意

・モジュラーケーブルは家電製品などの近くを経由させたり束ねて利用したりすると、うまく通信できないことがあります。
・添付のモジュラーケーブルがパソコンの設置場所から電話回線の差し込み口まで届かない場合は、市販品をご購入ください。ただし、モジュラーケーブルを長くすると、回線速度が低下したり、うまく通信できないことがあります。

インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう（▶P.64）。

ISDN 回線を使う場合

一般の電話回線に比べて、高速で安定した通信ができる電話回線を使って、インターネットに接続する方法です。
ISDN 回線を利用するためには、NTT への申し込みが必要です。また、電話回線の工事も必要となります（詳しくは、お近くの NTT にお問い合わせください。なお、ISDN 回線利用申し込みと同時に、工事の申し込みとなります）。

必要なものを用意する

次のものを用意してください。ISDN 回線ではパソコンの内蔵モデムの代わりに DSU とターミナルアダプタ（TA）を使います。DSU を内蔵した TA も発売されていますので、こちらを使うと、配線や接続が楽になります。

■ DSU（別売）

■ターミナルアダプタ（TA）（別売）

お使いの Windows に対応した TA を用意してください。

■専用ケーブル（別売）

DSU、TA を準備する

次の作業を行います。詳しくは、お使いの DSU や TA のマニュアルをご覧ください。

・パソコンと DSU、TA を ISDN 回線に接続します。
・TA のドライバをインストールします。
　パソコンに、TA を使うためのソフトウェア（ドライバ）をインストールします。

感電
・ISDN 回線の差し込み口（モジュラージャック）に指などを入れないでください。
　感電の原因となることがあります。

発火

・このパソコンを ISDN 回線に直接接続しないでください。
　火災・故障の原因となることがあります。必ず DSU および TA、もしくは DSU 内蔵 TA を経由して接続してください。

インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう（▶P.64）。

携帯電話／ PHS を使う場合

携帯電話／PHSと別売の接続用USBケーブルを使ってインターネットに接続する方法です。携帯電話／ PHS をお持ちでない方は、携帯電話／ PHS を購入し、移動体通信業者と別途契約する必要があります。

必要なものを用意する

お使いの携帯電話や PHS に対応したケーブルを用意してください。

■デジタル携帯電話または PIAFS（ピアフ）対応の PHS

お使いになれる機種については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）にてご案内します。

■携帯電話／ PHS 接続用 USB ケーブル

デジタル携帯電話または PIAFS（ピアフ）対応の PHS	お使いになれる機種については、富士通パソコン情報サイト FMWORLD.NET（http://www.fmworld.net/）にてご案内します。
携帯電話接続用 USB ケーブル	デジタル携帯電話とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL11S または FMV-CBL101 をお使いください。
PHS 接続用 USB ケーブル	PIAFS（ピアフ）対応の PHS とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL12S または FMV-CBL102 をお使いください。
PHS 接続用 USB ケーブル（H″対応）	DDI ポケットの H″などの対応電話機とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL103 をお使いください。
PHS 接続用 USB ケーブル（AirH″対応）	DDIポケットのAirH″などの対応電話機とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL15S をお使いください。
cdmaOne 接続用 USB ケーブル	cdmaOne 方式の携帯電話とパソコンを接続する場合は、別売の FMV-CBL104 をお使いください。

■「アプリケーションディスク 2」

上記ケーブルのドライバをインストールするときに使います。また、ケーブルを使うときの注意事項が記載された Readme.txt が入っています。

POINT

上記以外のケーブルをお使いになる場合

必ずケーブルのマニュアルをご覧ください。

携帯電話や PHS を接続する方法については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「携帯電話や PHS を接続する」をご覧ください。
インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう（••▶P.64）。

ADSL 回線を使う場合

一般の電話回線（アナログ回線）を使って、ISDN よりさらに高速にインターネットに接続する方法です。
ADSL 回線を利用するためには、回線事業者（ADSL 接続サービスの提供会社）へ ADSL 回線利用を申し込む必要があります。詳しくは、回線事業者にお問合わせください。

重 要

ADSL が利用できないケース

お住まいの地域やその他の条件により、ADSL が利用できないケースがあります。詳しくは（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」→「インターネット入門」→「ブロードバンドの基礎知識」→「ADSL について」をご覧ください。

必要なものを用意する

ご利用になる回線事業者からの指示に従って、LAN ケーブル（別売）など、必要な機器を用意してください。ただし、LAN アダプタ（LAN カード、LAN ボードなどとも呼ばれます）はこのパソコンに内蔵されているので、別途購入する必要はありません。

重 要

機器は接続方法・利用形態によって異なります

ADSL 回線の接続方法・利用形態にはいくつかの種類があり、それによって必要な機器が異なります。必ず回線事業者からの指示に従ってください。

機器を接続する

回線事業者に ADSL 回線利用を申し込み、工事などが終了して ADSL 回線が利用できる状態になったら、用意した機器をパソコンに接続します。詳しくは、ご利用になる回線事業者から提供された書類や、機器のマニュアルをご覧ください。

インターネットについては、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「FMV でインターネット」をご覧ください。

続いて、ユーザー登録をしましょう（••▶P.64）。

4 ユーザー登録をする

通信回線の接続（▶P.57）が終わったら、パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

POINT

ユーザー登録とは

ユーザー登録とは、FMV のユーザーとしてお客様の情報を弊社に登録していただくことを言います。ユーザー登録をしていただくと、さまざまなサービスをご利用いただけます。

パソコンの画面上でユーザー登録をする

このパソコンでは、パソコンの画面上でユーザー登録ができます。
詳しい操作手順については、『使いはじめガイド』→「使いはじめ編」→「ユーザー登録をする」をご覧ください。

5 準備が完了したら

ここまでの作業が終わると、パソコンの準備は完了です。

パソコンの準備はすべて完了していますか？

これまで説明してきたパソコンの準備が、すべて完了しているか確認してください。再確認したい項目や、完了していない操作については、各参照先に戻って再度確認または操作してください。

1「機種名を確認してください」（▶P.20）
お使いの機種によってマニュアルの読み方が異なります。

2「使用上のお願い」（▶P.21）
このパソコンの取り扱いにあたっての、大切な注意事項です。確認してください。

3「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」（▶P.28）
初めて電源を入れたときに行う操作です。すべての操作を終えているか、確認してください。

4「電源の切り方と入れ方」（▶P.49）
必ずこのマニュアルの手順に従って操作してください。

5「通信の回線を接続する」（▶P.57）
お客様の環境に合った回線を接続してください。

6「ユーザー登録をする」（▶P.64）
パソコンの画面上でユーザー登録を行います。

パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』へ

パソコンの準備が完了したら『使いはじめガイド』をお読みください。このパソコンでできることやインターネットの始め方などが紹介されています。

ファミリーネットワークステーション -T をお使いになる場合（NB16C/ST のみ）

ファミリーネットワークステーション -T をお使いになるには、ファミリーネットワークステーション -T に梱包されている『ファミリーネットワークステーション -T 準備と設定ガイド』をご覧になり、ファミリーネットワークステーション-Tの設置と接続をしてください。

第 4 章

目的に合わせて接続／設定する

「周辺機器を取り付けたい」など、目的に合わせてお読みください。

1　周辺機器（メモリなど）を取り付ける 68
2　テレビを見る準備をする（NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T の場合のみ） 72
3　USB スピーカーを接続する（NB18C/T の場合のみ） 76

周辺機器（メモリなど）を取り付ける

ここでは、メモリなどの周辺機器を取り付ける前に、予備知識として知っておいていただきたいことを説明しています。

POINT

周辺機器とは

プリンタ、デジタルカメラ、メモリなどの装置のことです。パソコンの各種コネクタに接続したり、パソコン本体内部に取り付けたりして、パソコンの機能を拡張したり、処理速度を高めたりできます。

警告

感電

- 周辺機器の取り付けや取り外しを行うときは、パソコン本体および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
  電源を入れたまま、または電源プラグを接続したままだと、感電・火災または故障の原因となります。

注意

故障

- 周辺機器のケーブルは正しく接続してください。
  誤った接続状態でお使いになると、パソコン本体および周辺機器が故障する原因となることがあります。
- 周辺機器、および周辺機器のケーブルは、弊社純正品をお使いください。
  純正品以外の周辺機器、および周辺機器のケーブルをお使いになると、故障の原因となることがあります。

取り扱い上の注意

周辺機器を取り付けるときは、次のことに注意してください。

- **周辺機器は、弊社純正品をお使いいただくことをお勧めします**
  純正品が用意されている周辺機器については、純正品以外を取り付けて、正常に動かなかったり、パソコンが故障しても、保証の対象外となります。
  純正品が用意されていない周辺機器については、このパソコンに対応しているかどうかをお使いの周辺機器メーカーにご確認ください。
- **Windows のセットアップは終了していますか？**
  「初めて電源を入れる～ Windows のセットアップ」（••▶P.28）をご覧になり、Windows のセットアップを行ってください。
  なお、セットアップを行うときは周辺機器を取り付けないでください。セットアップが正常に行われないおそれがあります。

「画面で見るマニュアル」をご覧ください

周辺機器の取り付け方は、「画面で見るマニュアル」の「パソコンの使い方」に記載されています。お使いになる周辺機器のマニュアルとあわせてご覧ください。
「パソコンの使い方」は次の手順でご覧いただけます。

1 ワンタッチボタンを「Application」モードにして「A ボタン」（P.17）を押します。

POINT

初めて起動すると

初めてサービスアシスタントを起動したときは「サービスアシスタントのご紹介」が表示されます。P.39 ～の手順 25 ～ 28 をご覧になり、操作を行ってください。

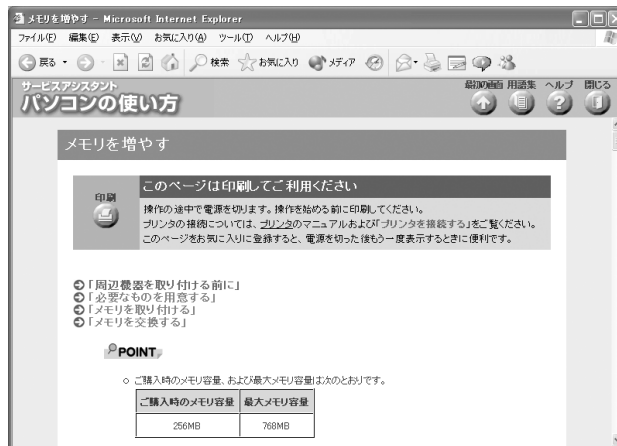
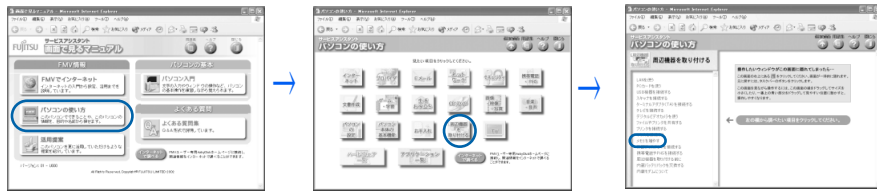
サービスアシスタントが起動します。

2 「画面で見るマニュアル」をクリックします。

（これ以降の画面は、機種や状況により異なります）

次のページへ

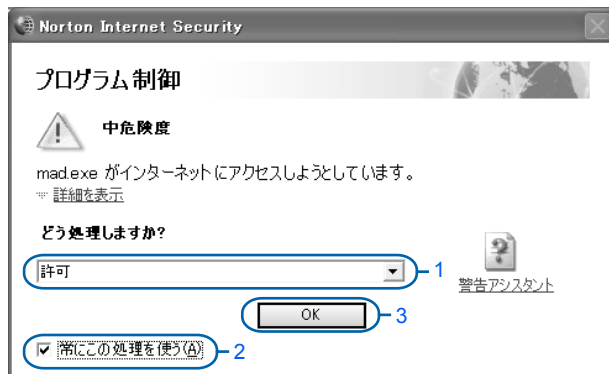
3 「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」の順にクリックして、取り付けたい周辺機器を選択します。

例えば、メモリを増やす場合は、「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「メモリを増やす」の順にクリックします。

周辺機器によっては、印刷してご覧いただくものがあります

操作の途中で電源を切る必要のある周辺機器については、「パソコンの使い方」の該当ページの先頭に「このページは印刷してご利用ください」と記載されています。操作を始める前に「パソコンの使い方」をプリンタで印刷してご覧ください。

「mad.exe がインターネットにアクセスしようとしています。」というメッセージが表示された場合

このウィンドウは、「Norton Internet Security」というアプリケーションの設定画面です。次の設定を行ってください。

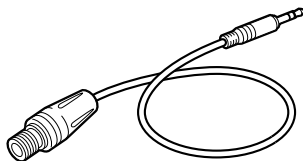
1. をクリックし、「許可」をクリックします。
2. 「常にこの処理を使う」をクリックして にします。
3. 「OK」をクリックします。

2 テレビを見る準備をする（NB18C/T, NB16C/T, NB16CN/T の場合のみ）

ここでは、アンテナを接続する方法を紹介します。

NB16C/ST をお使いの方は、『ファミリーネットワークステーション-T 準備と設定ガイド』をご覧ください。

必要なものを用意する

次のものを用意してください

■RF 変換ケーブル（添付品）

重 要

アンテナケーブル類は添付していません

アンテナケーブル、変換コネクタ、V/U ミキサ、中継コネクタなどは添付していません。市販のものをご購入ください。また、ケーブルは適切な長さのものをご購入ください。
アンテナ設置については、最寄りの電器店にお問い合わせください。

アンテナを接続するときはパソコンの電源を切ってください

パソコンの電源を切ってから、アンテナケーブルを接続してください。

接続する

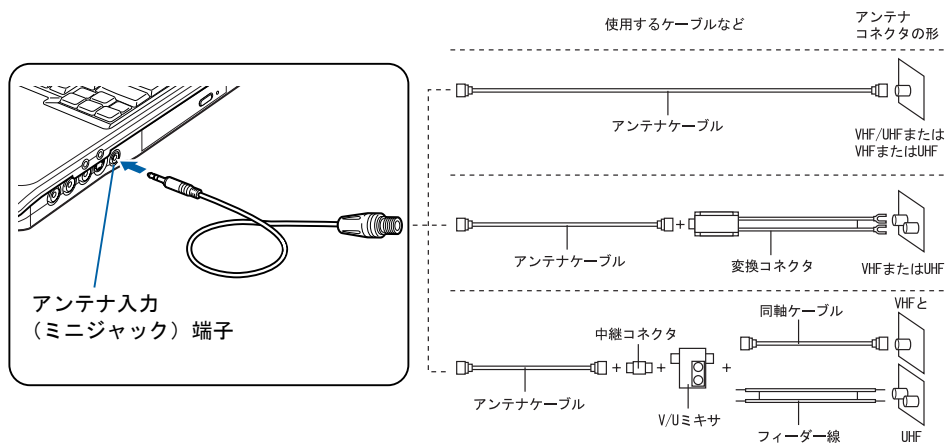
警告

感電

・近くで落雷のおそれがある場合は、すべての接続作業を中止してください。落雷による感電のおそれがあります。

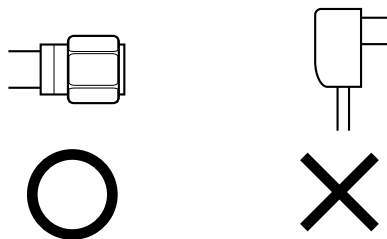
1 パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。

2 アンテナケーブルを、RF 変換ケーブルを経由してパソコン本体に接続します。

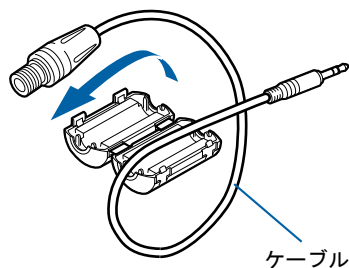
接続のしかたは、壁のアンテナコネクタの形や、お使いになるケーブルによって異なります。下の図から最も近いものを選択し、必要なケーブル類を接続してください。

重要

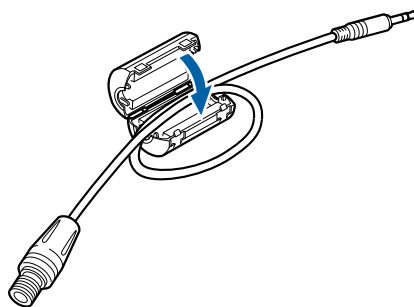
ネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください

アンテナケーブルと RF 変換ケーブルの接続には、ノイズの影響を受けにくいネジ式の F 型コネクタプラグをお使いください。F 型コネクタプラグの取り付け方については、F 型コネクタプラグのマニュアルをご覧になるか、電器店にお問い合わせください。

次のページへ

テレビの写りが悪いときは

テレビの写りが悪いときは、次のように RF 変換ケーブルに添付のコアを巻き付けると改善される場合があります。

1. パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。
2. アンテナケーブルを RF 変換ケーブルから外します。
3. RF 変換ケーブルに、コアを取り付けます。
   ケーブルをコアに 1 回巻き付けます。

（これ以降のイラストは実物と異なる場合があります）

4. コアを閉じます。
   コアがケーブルをはさみ込まないように注意してください。
   ケーブルが傷付きます。

5.「接続する」の手順 2（••▶P.73）に従って、アンテナケーブルを接続します。

テレビを見る

テレビを見るための機能（チャンネル設定）や、テレビの見かたなどについては、（サービスアシスタント）の最初の画面 →「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「TV」をご覧ください。

テレビを見るときの注意

テレビを見るときには、次の点にご注意ください。

・ご使用中は画面のプロパティの設定を変更しないでください。

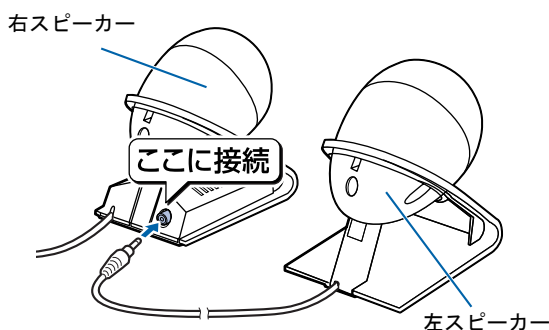
・メディアプレーヤーなど、他のアプリケーションと同時に使用しないでください。

ビデオデッキとの接続については、（サービスアシスタント）の最初の画面 →「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「ビデオデッキ／ビデオカメラ／ CS チューナーを接続する」をご覧ください。

3 USB スピーカーを接続する（NB18C/T の場合のみ）

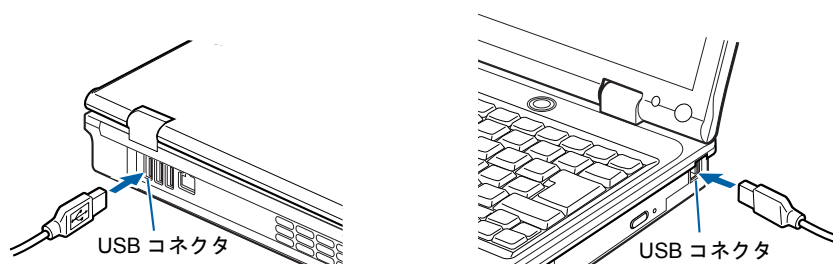
ここでは、このパソコンに添付の USB スピーカーを接続する方法を紹介します。USB スピーカーを接続すると、迫力あるサウンドでテレビなどを楽しむことができます。

接続する

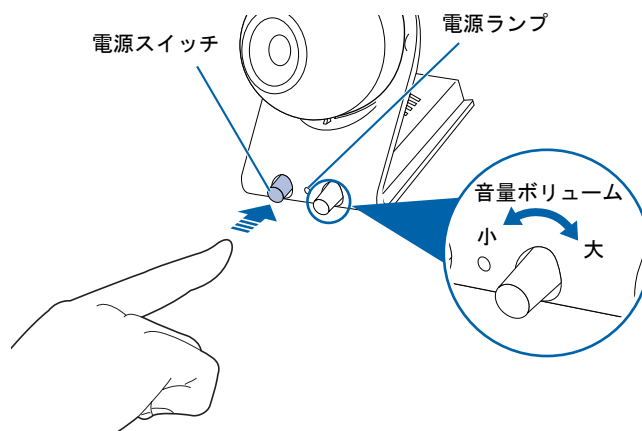
1 左右のスピーカーを接続します。

2 パソコン本体の USB コネクタに、USB スピーカーのケーブルを接続します。

USB 機器のケーブルのコネクタの マークを右にして差し込んでください。

■パソコン本体背面に接続する場合

■パソコン本体右側面に接続する場合

（イラストは機種や状況により異なります）

3 右スピーカーの電源スイッチを押して電源を入れます。

スピーカー前面の電源ランプが点灯します。
スピーカーの音量が極端に大きく、または小さくなっていないか、音量ボリュームの位置を確認してください。

USB スピーカーの接続について詳しくは、（サービスアシスタント）の最初の画面 →「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「USB スピーカーを接続する」をご覧ください。

1 仕様一覧

パソコン本体

製品名称		FMV-BIBLO NB18C/T（※ 1）	FMV-BIBLO NB18C（※ 1）
CPU （※ 2）		モバイル インテル ® Pentium® 4 プロセッサ 1.80GHz-M	
キャッシュメモリ		1 次：12K μ Ops 実行トレース＋ 8KB データ、2 次：512KB（CPU 内蔵）	
チップセット		ATI® RADEON™ IGP 340M/ALi M1535 ＋チップセット	
システム・バス		400MHz	
メインメモリ		標準 256MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 768MB	
拡張メモリスロット		× 1（空きスロット× 1）	
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	標準 32MB ／最大 128MB（メインメモリと共用）（※ 3）	
	液晶ディスプレイ	15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット	
	解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4） 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4）	
フロッピーディスクドライブ（※ 5）		FDD ユニット（USB）（別売）	3.5 インチ× 1（3 モード対応）
ハードディスクドライブ（※ 6）		60GB（Ultra DMA/100）	
CD/DVD ドライブ（※ 7）		DVD Multi ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 8 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 DVD-RAM 書込書換：最大 2 倍速、 DVD-R 書込：最大 1 倍速、 DVD-RW 書込書換：最大 1 倍速	CD-RW/DVD-ROM ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速
オーディオ機能	サウンドコントローラ	チップセット内蔵＋AC97 コーデック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵、 USB タイムドメインスピーカー ™ 添付	ステレオスピーカー内蔵
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）	
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付	
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）	
通信機能	モデム（※ 8）	データ：最大 56kbps（V.90 準拠）／ FAX：14.4kbps	
	LAN （※ 9）	100BASE-TX ／ 10BASE-T 準拠	
	ワイヤレス LAN	−	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（ ▶P.88）

製品名称			FMV-BIBLO NB18C/T（※ 1）	FMV-BIBLO NB18C（※ 1）
インターフェース	PC カード		PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応）	
	SD カード／メモリースティック（※ 11）		1 スロット	
	外部ディスプレイ		アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン	
	USB （※ 12）		USB2.0 準拠　シリーズ A × 4（右側面× 1、背面× 3）	
	IEEE1394（DV）（※ 13）		4 ピン× 1（S400）	
	モデム		RJ-11 × 1	
	LAN		RJ-45 × 1	
	ビデオ出力		S 端子（NTSC 出力）× 1	
	テレビ		アンテナ入力（ミニジャック）× 1、ビデオ入力（S ビデオ）× 1、ビデオ入力（コンポジット）× 1、ビデオ音声入力（L/R）× 2	－
	サウンド		ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック／光デジタルオーディオ出力：丸形：光ミニジャック、マイク：φ3.5mm モノラル・ミニジャック	
	状態表示		モノクロ液晶、アイコン表示、バックライト付	
電源供給方式		AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）	
		バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 3000mAh	
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0（※ 14））			約 1.8 時間	約 2.1 時間
バッテリ充電時間 （※ 15）			約 3 時間	
消費電力（※ 16）			約 23W（約 64W）	約 21W（約 64W）
省エネ法に基づくエネルギー消費効率（※ 17）			S 区分 0.00021	
外形寸法			W325.3 × D282 × H39.1 ～ 45 mm（突起部含まず）	
質量			約 3.5kg	
盗難防止用ロック			あり	
プレインストール OS			Windows XP SP1 Home Edition（DirectX8.1 対応）	
サポート OS			Windows XP SP1 Home Edition、Windows XP SP1 Professional	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

製品名称	FMV-BIBLO NB16C/T（※ 1）	FMV-BIBLO NB16C/V（※ 1）	FMV-BIBLO NB16C/ST（※ 1）	FMV-BIBLO NB16C（※ 1）
CPU （※ 2）	モバイル インテル® Celeron® プロセッサ 1.60GHz			
キャッシュメモリ	1 次：12K μ Ops 実行トレース＋ 8KB データ、2 次：256KB（CPU 内蔵）			
チップセット	ATI® RADEON™ IGP 340M/ALi M1535 ＋チップセット			
システム・バス	400MHz			
メインメモリ	標準 256MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 768MB			
拡張メモリスロット	× 1（空きスロット× 1）			
表示機能 グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵			
表示機能 ビデオメモリ	標準 32MB ／最大 128MB（メインメモリと共用）（※ 3）			
表示機能 液晶ディスプレイ	15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット			
表示機能 解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4） 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4）			
フロッピーディスクドライブ（※ 5）	FDD ユニット（USB）（別売）	3.5 インチ× 1（3 モード対応）		
ハードディスクドライブ（※ 6）	40GB（Ultra DMA/100）			
CD/DVD ドライブ（※ 7）	DVD-R/RW ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 DVD-R 書込：最大 1 倍速、 DVD-RW 書込書換：最大 1 倍速		CD-RW/DVD-ROM ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速	
オーディオ機能 サウンドコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック			
オーディオ機能 PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応			
オーディオ機能 MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート			
オーディオ機能 スピーカー	ステレオスピーカー内蔵			
キーボード	OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）			
ポインティングデバイス	フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付			
ワンタッチボタン	プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）			
通信機能 モデム（※ 8）	データ：最大 56kbps（V.90 準拠）／ FAX：14.4kbps			
通信機能 LAN （※ 9）	100BASE-TX ／ 10BASE-T 準拠			
通信機能 ワイヤレス LAN	－		IEEE802.11b 準拠（Wi-Fi 準拠）（※ 10）	－

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（▶P.88）

製品名称		FMV-BIBLO NB16C/T（※1）	FMV-BIBLO NB16C/V（※1）	FMV-BIBLO NB16C/ST（※1）	FMV-BIBLO NB16C（※1）
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応）			
	SD カード／メモリースティック（※11）	1 スロット			
	外部ディスプレイ	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン			
	USB （※12）	USB2.0 準拠　シリーズ A × 4（右側面× 1、背面× 3）			
	IEEE1394（DV）（※13）	4 ピン× 1（S400）			
	モデム	RJ-11 × 1			
	LAN	RJ-45 × 1			
	ビデオ出力	S 端子（NTSC 出力）× 1			
	テレビ	アンテナ入力（ミニジャック）× 1、ビデオ入力（S ビデオ）× 1、ビデオ入力（コンポジット）× 1、ビデオ音声入力（L/R）× 2	−		
	サウンド	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック／光デジタルオーディオ出力：丸形：光ミニジャック、マイク：φ3.5mm モノラル・ミニジャック			
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示、バックライト付			
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）			
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 3000mAh			
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0（※14））		約 1.5 時間	約 1.7 時間		約 1.8 時間
バッテリ充電時間（※15）		約 3 時間			
消費電力（※16）		約 23W（約 64W）	約 21W（約 64W）		約 20W（約 64W）
省エネ法に基づくエネルギー消費効率（※17）		S 区分 0.00023			
外形寸法		W325.3 × D282 × H39.1 ～ 45 mm（突起部含まず）			
質量		約 3.5kg			
盗難防止用ロック		あり			
プレインストール OS		Windows XP SP1 Home Edition （DirectX8.1 対応）			Windows XP SP1 Home Edition（DirectX8.1 対応）または Windows XP SP1 Professional（DirectX8.1 対応）
サポート OS		Windows XP SP1 Home Edition、Windows XP SP1 Professional			

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

製品名称		FMV-BIBLO NB16C/A（※ 1）	FMV-BIBLO NB16C/R（※ 1）
CPU （※ 2）		モバイル AMD Athlon™ XP プロセッサ 1600 ＋	モバイル インテル ® Celeron® プロセッサ 1.60GHz
キャッシュメモリ		1 次：128KB ＋ 2 次：256KB（CPU 内蔵）	1 次：12K μ Ops 実行トレース＋ 8KB データ、2 次：256KB（CPU 内蔵）
チップセット		ATI® RADEON IGP 320M / ALi M1535 ＋チップセット	ATI® RADEON IGP 340M / ALi M1535 ＋チップセット
システム・バス		266MHz	400MH z
メインメモリ		標準 256MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 768MB	
拡張メモリスロット		× 1（空きスロット× 1）	
表示機能	グラフィック アクセラレータ	チップセットに内蔵	
	ビデオメモリ	標準 32MB ／最大 128MB（メインメモリと共用）（※ 3）	
	液晶ディスプレイ	14.1 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット	
	解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4） 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4）	
フロッピーディスクドライブ（※ 5）		3.5 インチ× 1（3 モード対応）	
ハードディスクドライブ（※ 6）		40GB（Ultra DMA/100）	30GB（Ultra DMA/100）
CD/DVD ドライブ（※ 7）		CD-RW/DVD-ROM ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、 DVD-ROM 読出：最大 8 倍速	CD-R/RW ドライブ CD-ROM 読出：最大 24 倍速、 CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速
オーディオ機能	サウンドコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック	
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応	
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート	
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵	
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）	
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付	フラットポイント、スクロールボタン
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）	
通信機能	モデム（※ 8）	データ：最大 56kbps（V.90 準拠）／ FAX：14.4kbps	
	LAN （※ 9）	100BASE-TX ／ 10BASE-T 準拠	
	ワイヤレス LAN	－	
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応）	
	SD カード／メモリースティック（※ 11）	1 スロット	
	外部ディスプレイ	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン	
	USB （※ 12）	USB2.0 準拠　シリーズ A × 4（右側面× 1、背面× 3）	
	IEEE1394（DV）（※ 13）	4 ピン× 1（S400）	
	モデム	RJ-11 × 1	
	LAN	RJ-45 × 1	
	ビデオ出力	S 端子（NTSC 出力）× 1	
	テレビ	－	
	サウンド	ヘッドホン：φ 3.5mm ステレオ・ミニジャック／ 光デジタルオーディオ出力：丸形：光ミニジャック、 マイク：φ 3.5mm モノラル・ミニジャック	
	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示、バックライト付	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

製品名称		FMV-BIBLO NB16C/A（※ 1）	FMV-BIBLO NB16C/R（※ 1）
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）	
	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 3000mAh	
バッテリ稼働時間 （JEITA 測定法 1.0（※ 14））		約 2.2 時間	約 1.8 時間
バッテリ充電時間 （※ 15）		約 3 時間	
消費電力（※ 16）		約 21W（約 71W）	約 20W（約 64W）
省エネ法に基づく エネルギー消費効率（※ 17）		S 区分 0.00043	S 区分 0.00023
外形寸法		W325.3 × D282 × H39.1 ～ 45 mm（突起部含まず）	
質量		約 3.5kg	
盗難防止用ロック		あり	
プレインストール OS		Windows XP SP1 Home Edition （DirectX8.1 対応）	Windows XP SP1 Home Edition （DirectX8.1 対応） または Windows XP SP1 Professional （DirectX8.1 対応）
サポート OS		Windows XP SP1 Home Edition、Windows XP SP1 Professional	

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

製品名称		FMV-BIBLO NB18CN（※ 1）	FMV-BIBLO NB16CN/T（※ 1）	FMV-BIBLO NB16CN（※ 1）
CPU （※ 2）		モバイル インテル® Pentium® 4 プロセッサ 1.80GHz-M	モバイル AMD Athlon™ XP プロセッサ 1600 ＋（※ 18）	
キャッシュメモリ		1 次：12K μ Ops 実行トレース＋ 8KB データ、2 次：512KB（CPU 内蔵）	1 次：12k μ Ops 実行トレース＋ 8KB データ、2 次：2562KB（CPU 内蔵）	
チップセット		ATI® RADEON™ IGP 340M / ALi M1535 ＋チップセット		
システム・バス		400MHz		
メインメモリ		標準 256MB（PC2100 DDR SDRAM）ECC なし　最大 768MB（※ 19）		
拡張メモリスロット		× 1（空きスロット× 1）		
表示機能	グラフィックアクセラレータ	チップセットに内蔵		
	ビデオメモリ	標準 32MB ／最大 128MB（メインメモリと共用）（※ 3）		
	液晶ディスプレイ	15 型 TFT カラー 1024 × 768 ドット		
	解像度／発色数	液晶ディスプレイ表示：1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4） 外部ディスプレイ表示：最大 1600 × 1200 ドット／最大 1677 万色 液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示： 1024 × 768 ドット／ 1677 万色 （※ 4）		
フロッピーディスクドライブ（※ 5）		3.5 インチ× 1（3 モード対応）	FDD ユニット（USB）（別売）	3.5 インチ× 1（3 モード対応）
ハードディスクドライブ（※ 6）		60GB（Ultra DMA/100）	40GB（Ultra DMA/100）（※ 21）	40GB（Ultra DMA/100）
CD/DVD ドライブ（※ 7）		DVD Multi ドライブまたは CD-RW/DVD-ROM ドライブ（※ 22）		CD-R/RW ドライブまたは CD-RW/DVD-ROM ドライブまたは DVD-R/RW ドライブ（※ 22）
オーディオ機能	サウンドコントローラ	チップセット内蔵 + AC97 コーデック		
	PCM 録音再生機能	サンプリング周波数　48kHz、16 ビット　ステレオ、同時録音再生対応		
	MIDI 再生機能	OS 標準機能にてサポート		
	スピーカー	ステレオスピーカー内蔵		
キーボード		OADG 配列準拠 87 キー（Windows キー、アプリケーションキー付）		
ポインティングデバイス		フラットポイント、スクロールボタン、USB マウス（光学式）添付		
ワンタッチボタン		プログラマブル× 4（モード切り替えボタン付）		
通信機能	モデム（※ 8）	データ：最大 56kbps（V.90 準拠）／ FAX：14.4kbps		
	LAN （※ 9）	100BASE-TX / 10BASE-T 準拠		
	ワイヤレス LAN	—		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

製品名称		FMV-BIBLO NB18CN（※1）	FMV-BIBLO NB16CN/T（※1）	FMV-BIBLO NB16CN（※1）
インターフェース	PC カード	PC Card Standard 準拠 Type Ⅰ / Ⅱ × 2 スロット または Type Ⅲ × 1 スロット（CardBus 対応）		
インターフェース	SD カード／メモリースティック（※ 11）	1 スロット		
インターフェース	外部ディスプレイ	アナログ RGB Mini D-SUB 15 ピン		
インターフェース	USB （※ 12）	USB2.0 準拠　シリーズ A × 4（右側面× 1、背面× 3）		
インターフェース	IEEE1394（DV）（※ 13）	4 ピン× 1（S400）		
インターフェース	モデム	RJ-11 × 1		
インターフェース	LAN	RJ-45 × 1		
インターフェース	ビデオ出力	S 端子（NTSC 出力）× 1		
インターフェース	テレビ	−	アンテナ入力（ミニジャック）× 1、ビデオ入力（S ビデオ）× 1、ビデオ入力（コンポジット）× 1、ビデオ音声入力（L/R）× 2	−
インターフェース	サウンド	ヘッドホン：φ3.5mm ステレオ・ミニジャック／光デジタルオーディオ出力：丸形：光ミニジャック、マイク：φ3.5mm モノラル・ミニジャック		
インターフェース	状態表示	モノクロ液晶、アイコン表示、バックライト付		
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ～ 240V、出力 DC19V（3.16A）		
電源供給方式	バッテリ	内蔵バッテリパック：リチウムイオン、10.8V ／ 3000mAh		
バッテリ稼働時間（JEITA 測定法 1.0（※ 14））		約 2.1 時間	約 1.5 時間	約 1.9 時間
バッテリ充電時間 （※ 15）		約 3 時間		
消費電力（※ 16）		約 21W（約 64W）	約 23W（約 64W）	約 20W（約 64W）
省エネ法に基づくエネルギー消費効率（※ 17）		S 区分 0.00021	S 区分 0.00023	
外形寸法		W325.3 × D282 × H39.1 ～ 45 mm（突起部含まず）		
質量		約 3.5kg		
盗難防止用ロック		あり		
プレインストール OS		Windows XP SP1 Home Edition（DirectX8.1 対応）		Windows XP SP1 Home Edition（DirectX8.1 対応）または Windows XP SP1 Professional（DirectX8.1 対応）
サポート OS		Windows XP SP1 Home Edition、Windows XP SP1 Professional		

パソコンの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
「仕様一覧の※印について」（••▶P.88）

仕様一覧の※印について

※ 1　本パソコンの技術基準適合認証番号は、A02-0575JP、D02-1007JP です。

※ 2　アプリケーションによっては CPU 名表記が異なることがあります。

※ 3　BIOS セットアップで 16MB/32MB/64MB/128MB から選択できます。

※ 4　液晶ディスプレイでは、ディザリング機能（擬似的に色を表示する機能）によって、1677 万色で表示されます。

※ 5　フロッピーディスクは、フォーマットした環境（メーカー、機種、ソフトウェア）によっては、データを読み書きできない場合があります。対応メディアは、2HD（1.44MB, 1.2MB）と 2DD（720KB）です。なお、1.44MB 以外のフォーマットはできません。

※ 6　容量は、1MB=1000^2byte、1GB=1000^3byte 換算値です。

※ 7　各数値は仕様上の最大限であり、使用メディアや動作環境によって異なる場合があります。

※ 8　V.90 は ITU（国際電気通信連合）が定めた通信規格です。V.90 での接続においては接続先のプロバイダなどが同規格に対応していることが必要です。56000bps は V.90 の理論上の最高速度であり、実際の通信速度は回線の状況により変化します。V.90 の 33600bps を超える通信速度は受信時のみで、送信時は 33600bps が最高速度となります。また、日本国内の一般公衆回線、あるいは構内交換機経由での通信においては同規格での通信が行えない場合があります。

※ 9　屋内のネットワーク専用です。

※ 10　Wi-Fi 準拠とは、ワイヤレス LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance」の相互接続性テストを合格していることを示しています。

※ 11　SD カードとメモリースティックを同時には使用できません。また、著作権保護機能には対応していません。

※ 12　すべての USB 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

※ 13　すべての IEEE1394 対応周辺機器について動作保証するものではありません。

※ 14　社団法人 電子情報技術産業協会の『JEITA バッテリ動作時間測定法（Ver1.0)』(http://it.jeita.or.jp/mobile/index.html)。なお、本体のみ、省電力制御あり、満充電の場合。ただし、実際の稼働時間は使用条件により異なります。

※ 15　電源 OFF またはスタンバイ時。なお、装置の動作状況により充電時間が長くなることがあります。

※ 16　AC アダプタ運用時。その他の消費電力については次のとおりです。

・電源 OFF 時の消費電力 : 約 1.0W 以下（満充電時）（NB18C/T, NB18C, NB16C/T, NB16C/V, NB16C/ST, NB16C, NB16C/R, NB18CN, NB16CN/T）
約 1.44W 以下（満充電時）（NB16C/A, NB16CN）

・動作時の最大電力： 約 64W 以下（NB18C/T, NB18C, NB16C/T, NB16C/V, NB16C/ST, NB16C, NB16C/R, NB18CN, NB16CN/T）
約 71W 以下（NB16C/A, NB16CN）

・動作時の最小電力： 約 23W 以下（NB18C/T, NB16C/T）
約 21W 以下（NB18C, NB16C/ST, NB16C/V, NB16C/A, NB16CN）
約 20W 以下（NB16C, NB16C/R）

※ 17　エネルギー消費効率とは省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。

※ 18　QuantiSpeed^{TM} アーキテクチャーにより、1.4GHz 動作で従来の設計に基づく 1.6GHz プロセッサの性能に匹敵あるいは上回る性能を実現しています。

※ 19　ご購入時の選択によっては、384MB、512MB、768MB の場合もあります。

※ 20　ご購入時の選択によっては、空きスロットがない場合もあります。

※ 21　ご購入時の選択によっては、60GB の場合もあります。

※ 22　各ドライブの主な仕様は次の通りです。

DVD Multi ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 8 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 DVD-RAM 書込書換：最大 2 倍速、DVD-R 書込：最大 1 倍速、 DVD-RW 書込書換：最大 1 倍速
DVD-R/RW ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 16 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速、 DVD-R 書込：最大 1 倍速、DVD-RW 書込書換：最大 1 倍速
CD-RW/DVD-ROM ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速、DVD-ROM 読出：最大 8 倍速
CD-R/RW ドライブ	CD-ROM 読出：最大 24 倍速、CD-R 書込：最大 24 倍速、 CD-RW 書込書換：最大 10 倍速

スピーカー（NB18C/T のみ）

方式	USB タイムドメインスピーカー
スピーカーユニット	口径：39mm
定格出力	0.5W/ch
再生周波数	95Hz ～ 20kHz
外形寸法	88（W）× 128（D）× 126（H）（mm）
質量	約 0.6kg

2 リサイクルについて

パソコン本体の廃棄について

パソコンの液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。
パソコンを廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

■法人・企業のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、産業廃棄物の扱いとなりますので、産業廃棄物処分業の許可を取得している会社に処分を委託する必要があります。弊社は、「富士通リサイクルシステム」を用意し、お客様の廃棄のお手伝いをしておりますのでご利用ください。

■個人のお客様へ

パソコンを廃棄する場合は、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

重 要

パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに入っているハードディスクという記憶装置には、お客様の重要なデータが記録されています。したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスク内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。「データを消去する」という場合、一般に
・データを「ごみ箱」に捨てる
・「削除」操作を行う
・「ごみ箱を空にする」を使って消す
・ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
・添付のリカバリディスクを使って、ご購入時の状態に戻す
などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際にはデータが見えなくなっているだけという状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS からデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているのです。したがって、データ回復のための特殊なソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
パソコンの廃棄・譲渡等を行う際に、ハードディスク上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアやサービス（有料）を利用することをお勧めします。また、廃棄する場合は、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊することをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。

このパソコンには、パソコンの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の一つとして、専用ソフトウェア「ハードディスクデータ消去」が添付されています。「ハードディスクデータ消去」は、Windows などの OS によるファイル削除や初期化と違い、ハードディスクの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、「ハードディスクデータ消去」で消去した場合でも、特殊な設備や特殊なソフトウェアの使用によりデータを復元される可能性はゼロではありませんので、あらかじめご了承ください。

■「ハードディスクデータ消去」の使い方

「ハードディスクデータ消去」を実行する前に、次の点にご注意ください。

・必要なデータはバックアップしてください。
・データ消去終了まで、数時間かかります。
・途中で電源を切らないでください。ハードディスクが壊れる可能性があります。
・必ず、AC アダプタを使用してください。
・周辺機器は取り外してください。
・リカバリディスクを準備してください。
・ご購入時に取り付けられている内蔵ハードディスクのみ消去できます。

準備ができたら、次の手順にしたがって、「ハードディスクデータ消去」を実行します。

1 パソコンの電源が入っていたら、電源を切ります。

2 キーボードの 【F12】 の位置を確認します。
パソコンの電源を入れた後、すぐこのキーを押せるようにしてください。

3 パソコンの電源を入れ、FUJITSU のロゴ画面の下にメッセージが表示されている間に、【F12】 を押します。
【F12】 を軽く押しただけでは認識されない場合があります。しばらくの間押してください。
しばらくすると、起動メニューが表示されます。

4 「リカバリディスク」1 枚目をセットします。
ディスクが認識されるまで 10 秒ほど待ってから、次の手順に進んでください。

5 【↓】 を押して「CD-ROM ドライブ」を選択し、【Enter】 を押します。
しばらくすると、「リカバリメニュー」が表示されます。

6 【→】、または 【←】 を押して「ハードディスクデータ消去」を選び、【Enter】 を押します。
ハードディスクデータ消去に関する注意事項が表示されます。

7 内容をよくお読みになり、同意していただいた場合は、【A】 を押します。
書き込みエラー発生時の処理を選択する画面が表示されます。

8 内容をよくお読みになり、エラー発生時に処理を中断する場合は 【E】 を、エラーをスキップして消去を続ける場合は 【S】 を押します。
ハードディスクの情報と、消去手順中の注意が表示されます。

9 内容をよくお読みになり、消去を実行してもよい場合は、【Y】 を押します。
データ消去が始まります。

10 「データ消去が完了しました。」と表示されたら、ディスクを取り出してから電源ボタンを 4 秒以上押し続けて電源を切ります。

■ 法人・企業のお客様へ

弊社では、法人・企業のお客様向けに、専門スタッフがお客様のもとへお伺いし、短時間でデータを消去する、「データ完全消去サービス」をご用意しております。
消去方法は、専用ソフトウェアによる「ソフト消去」と、消磁装置による「ハード消去」があります。

ソフト消去	ランダムデータ 2 回書（標準）から海外規格（NSA,DoD・・・）に対応
ハード消去	消磁装置による磁気破壊（媒体表面水平磁力 5000 ガウス）

詳しくは、ストレージ統合サービス（http://storage-system.fujitsu.com/jp/service/）をご覧ください。
お問い合わせ／お申し込み先　メールアドレス：erase@support.fujitsu.com

富士通リサイクルシステムについて

弊社では 1998 年より、法人・企業のお客様から廃棄されるパソコン本体を「富士通リサイクルシステム」（有料）にて回収・リサイクルし、資源の有効利用に取り組んでおります。
お問い合わせ／お申し込み先： http://eco.fujitsu.com の「富士通リサイクルシステム」をご参照ください。
なお、法人・企業以外のお客様はお申し込みできません。

ご家庭から排出される PC グリーンラベル適用製品について

ご家庭から排出される使用済みパソコンの回収については、経済産業省 環境部会廃棄物・リサイクル小委員会パソコン 3R ワーキンググループと、環境省 パソコン等リサイクル検討会の合同会合で審議された結果を踏まえて、平成 15 年 10 月を目途に適切な方策を導入することになっております。
このため、PC グリーンラベル適用製品の各ご家庭からの具体的な回収開始時期及び回収方法等につきましては、別途、弊社よりインターネットなどを通じてご案内申し上げます。

使用済バッテリ（リチウムイオン電池のバッテリパック、バッテリユニット）の廃棄について

バッテリは、貴重な資源です。リサイクルにご協力ください。
バッテリを火中に投じると破裂のおそれがあります。使用済バッテリは、ビニールテープなどで絶縁処理をしてください。
バッテリの取り外し方については、（サービスアシスタント）の最初の画面→「画面で見るマニュアル」→「パソコンの使い方」→「周辺機器を取り付ける」→「内蔵バッテリパックを交換する」をご覧ください。

■法人・企業のお客様へ

使用済バッテリを廃棄する場合は、富士通株式会社環境本部（電話：044-754-3411）にお問い合わせください。

■個人のお客様へ

使用済バッテリは、「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の販売店などに設置してあるリサイクル BOX に入れてください。
詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページ（http://www.JBRC.com/）をご参照ください。

このマークは、リチウムイオン電池のリサイクルマークです。

！印刷時この情報を隠す

この本で見つからない情報は、画面で検索しよう！

（サービスアシスタント）の最初の画面 →
キーワードから選ぶ

索　引

A

AC アダプタ 23
　－接続する..................... 26
　－表示 16
AC ケーブル 23
ADSL 回線......................... 63
「Application」モード 17
A ボタン 17

B

B ボタン 17

C

Caps Lock 表示 16
CD/DVD ドライブ 12, 13
cdmaOne 接続用 USB ケーブル 62
CD アクセス表示................... 16
CD 取り出しボタン 12, 13

D

DC-IN コネクタ 11
DSU 61
DVD-ROM ドライブ................. 12
DV 端子........................... 11

E

E-mail ボタン..................... 17

I

IEEE1394（DV）端子 11
Internet ボタン................... 17
ISDN 回線 61

L

LAN コネクタ 14
「Lock」モード..................... 17

N

Num Lock 表示..................... 16

P

PC カード
　－アクセス表示 16
　－スロット..................... 11
　－取り出しボタン............... 11
PHS
　－接続用 USB ケーブル........... 62
　－使う 62
「Player」モード 17

R

RF 変換ケーブル...................72

S

Scroll Lock 表示...................16
SD カードスロット 11
SUS/RES 表示.......................16
S ビデオ端子.......................11

T

TA.................................61

U

USB コネクタ 12, 13, 14
USB スピーカー
　－接続する.......................76

W

Windows 28
　－使用許諾契約書.................32
　－セットアップ 28

あ行

アプリケーション
　－起動する.......................48
アンテナ 73
アンテナ入力
（ミニジャック）端子........... 12, 73
一般の電話回線 58
液晶ディスプレイ 10

か行

カーソル 44
外部ディスプレイコネクタ...........14
各部名称 9
　－状態表示 LCD 16
　－パソコン本体下面 15
　－パソコン本体前面 10
　－パソコン本体側面 11
　－パソコン本体背面 14
　－ワンタッチボタン 17
カバークローズスイッチ 10
画面で見るマニュアル........... 41, 69
キーボード 10
機種名..............................20
クリック 30

携帯電話
　－接続用 USB ケーブル. 62
　－使う 62

さ行

サービスアシスタント 39, 69
周辺機器を取り付ける 68
仕様
　－スピーカー 89
　－パソコン本体 80
状態表示 LCD 10, 16
スクロールボタン 10
スピーカー 10
セットアップ. 28

た行

ターミナルアダプタ. 61
ダイヤル方法. 45
通信の回線 57
デジタルカメラ 68
テレビ. 72
電源
　－入れる 26, 54
　－切る 49
　－切れない場合 52
電源ボタン 10
電話回線
　－種類 45
　－接続 58
電話線. 58
盗難防止用ロック 11
トーン. 45

は行

ハードディスクアクセス表示 16
排気孔. 14
初めて電源を入れる. 28
バッテリ
　－残量表示. 16
　－充電表示. 16
　－装着表示. 16
　－使うときの注意. 54
バッテリパック 15
パルス. 45
光デジタルオーディオ出力端子 . . . 12, 13
ビデオ音声入力端子. 12
ビデオ出力端子 11
ビデオ入力（S ビデオ）端子 12
ビデオ入力（コンポジット）端子. 12
品名 20
フラットポイント 10
プリンタ 68
フロッピーディスクアクセス表示. 16
フロッピーディスクドライブ 13
フロッピーディスク取り出しボタン . . . 13
ヘッドホン端子 12, 13
保証書. 23, 37

ま行

マイク端子 12, 13
マウスポインタ 44
メモリ. 68
メモリースティックスロット 11
モードボタン. 10, 17
モジュラーケーブル. 58
モデム. 58
モデムコネクタ 11

や行

ユーザー登録. 64

ら行

ラッチ. 10

わ行

ワイヤレス LAN アンテナ. 11
ワイヤレススイッチ. 13
ワンタッチボタン 10, 17

FMV-BIBLO NB18C/T, NB18C, NB16C/T, NB16C/V, NB16C/ST,
NB16C, NB16C/A, NB16C/R, NB18CN, NB16CN/T, NB16CN

パソコンの準備

B5FH-7391-01-00

発 行 日　2003 年 1 月
発行責任　富士通株式会社

Printed in Japan

㋳0301-1

https://www.fmworld.net/azby/

FMVユーザー専用 アズビィクラブ ホームページ

FMV-BIBLO

NB18C/T,NB18C,NB16C/T,NB16C/V,NB16C/ST,NB16C,NB16C/A,NB16C/R,NB18CN,NB16CN/T,NB16CN

FUJITSU

T4988618883023

B5FH-7391-01